

平成 27 年国勢調査

第 1 次試験調査結果報告書

平成25年3月

国勢統計課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査票の集計結果	7
III 世帯アンケートの集計結果	26
IV 記録表の取りまとめ結果	38

※ 「記録表の取りまとめ結果」は、調査員記録表、調査状況等記録表及び審査結果記録表に基づいたものであり、「調査票の集計結果」と一致しない場合がある。

I 調査の概要

1 調査の目的

国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）に定める基幹統計調査として、同法第5条第2項の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査であり、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としている。また、国勢調査は、我が国の最も基本的な統計調査として大正9年（1920年）以来5年ごとに実施しており、平成27年国勢調査はその20回目の調査に当たる。

平成22年国勢調査は、国勢調査開始以来初めて以下の調査方法を導入したところである。

- 全世帯が調査票を封入して提出すること
- 希望する世帯が郵送で提出すること
- 東京都内の希望する世帯がオンラインで提出すること

平成27年国勢調査実施計画の立案に当たっては、平成22年国勢調査で導入した調査方法に係る利点の推進及び課題への対応が不可欠であるとともに、調査票の記入精度の向上等を図る必要がある。特に、オンライン回答方式については、不詳の発生を仕組み上低減し、若年層を中心とした回収対策としても期待されることから、さらなる推進を図る必要がある。

そこで、オンライン回答を調査員提出及び郵送提出に先行して実施する方式（先行方式）とオンライン回答、調査員提出及び郵送提出を並行して実施する方式（並行方式）の二つの方式により調査を実施し、オンライン回答率、調査員・市町村事務への影響等、平成27年国勢調査の検討に向けて必要となる事項を実地検証することを目的として、平成27年国勢調査第1次試験調査を実施した。

2 調査の地域

(1) 市町

群馬県高崎市、群馬県玉村町、神奈川県川崎市、神奈川県小田原市、三重県四日市市、三重県松阪市、大阪府大阪市、大阪府豊中市、島根県出雲市、島根県吉賀町、愛媛県松山市、愛媛県今治市、佐賀県佐賀市、佐賀県白石町の14市町

(2) 調査区

上記市町に属する平成22年国勢調査調査区の中から、地域特性を考慮して選定した384調査区

※ 調査区は、総務省統計局（以下「統計局」という。）が指定する地域特性に該当する調査区を市町が選定し、統計局において他の統計調査との重複排除の調整を行った上で決定

3 調査の期日及び日程

(1) 調査の期日

平成24年7月12日（木）午前零時現在

(2) 調査の主要日程

別紙1参照

4 調査の対象

調査の期日において、調査の地域内に常住する者

ただし、外国政府の外交使節団又は領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属並びにこれらの家族を除く。

5 調査事項及び調査票

調査区ごとに、2種類（甲：A4判両面記入 及び 乙：A3判片面のみ記入）のOCR（光学式文字読取）調査票を用いて、次の事項を調査

(1) 世帯員に関する事項（13項目）

ア 氏名	ク 5年前の住居の所在地
イ 男女の別	ケ 就業状態
ウ 出生の年月	コ 所属の事業所の名称及び事業の種類
エ 世帯主との続柄	サ 仕事の種類
オ 配偶の関係	シ 従業上の地位
カ 国籍	ス 従業地又は通学地
キ 現在の住居における居住期間	

(2) 世帯に関する事項（4項目）

ア 世帯の種類	ウ 住居の種類
イ 世帯員の数	エ 住宅の建て方

6 調査の方法

(1) 調査の流れ

統計局－府県－市町－調査員－世帯

(2) 調査の方法

《先行方式》

調査票の提出について、オンラインによる提出の時期を、調査員提出及び郵送提出の時期に先行して設定する方式

ア 調査員は所定の期間に担当調査区内の全世帯を訪問し、面接の上で『調査についてのお知らせ』（※）を配布するとともに、調査世帯一覧（以下「一覧」という。）を作成するために世帯主の氏名及び世帯員の数（男女の別を含む。）を聴取する。その際、調査員は一覧に必要な事項を記入する。

なお、不在世帯については、日・時間を変えて繰り返し訪問することとするが、それでもなお面接することができない世帯に対しては、『調査についてのお知らせ』を郵便受けに入れるなどして配布する。

※オンライン回答用のURL、ID等を記載

イ 市町はオンライン回答世帯を把握し、調査員にその情報を伝達する。調査員は、その情報に基づいてオンライン回答をしていない世帯を訪問し、面接の上で調査票等を配布する。

ウ 調査票の当初回収期間に、調査員は、オンライン回答をしていない世帯を訪問し、面接の上で各世帯の提出状況を把握する。また、調査期日前に提出した世帯に対しては、調査期日までの世帯員の異動状況について聴取する。

エ 調査票を調査員に直接提出した世帯以外の世帯（オンライン回答や郵送提出等の世帯）があった場合、調査員は『調査へのご協力ありがとうございます』（確認状）を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布する。

オ 調査員は、直接調査票を回収（調査員提出）した世帯について一覧に記入する。市町は郵送提出等の世帯の情報を調査員に伝達（一覧に提出世帯の情報を集約）し、未提出世帯を特定する。

カ 調査員は、市町から伝達された情報（一覧）に基づいて未提出世帯を訪問し、面接の上、調査票を直接回収する。

キ 未提出世帯が不在等の場合は、調査員は再三訪問するなどして世帯との面接に努め

る。なお、世帯と面接できないなど、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合は、調査員は近隣の世帯等から、氏名、男女の別及び世帯員の数の3項目を聴取し、調査票の記入を行うものとする（聞き取り調査）。

ク 聞き取り調査を行った世帯に対し、調査員は『調査票提出のお願い』（督促状）、調査票等を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布し、当該世帯からの調査票の提出を促す。

《並行方式》

調査票の提出について、調査員提出、オンライン回答及び郵送提出の時期を同じ時期に設定する方式

ア 調査員は、所定の期間に担当調査区内の全世帯に対し、『調査についてのお知らせ』を郵便受けに入れるなどして配布する。

イ 調査員は全世帯を訪問し、面接の上で調査票等（※）を配布するとともに、一覧を作成するために世帯主の氏名及び世帯員の数（男女の別を含む。）を聴取する。その際、一覧に必要な事項を記入する。

※オンライン回答用のURL、ID等を記載

ウ 調査員は、調査票の当初回収期間に全世帯を訪問し、面接の上で各世帯の提出状況を把握する。また、調査期日前に提出した世帯に対しては、調査期日までの世帯員の異動状況について聴取する。

エ 当初回収期間内に調査票を調査員に直接提出した世帯以外の世帯（オンライン回答や郵送提出等の世帯）があった場合、調査員は『調査へのご協力ありがとうございます』（確認状）を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布する。

オ 調査員は、直接調査票を回収（調査員提出）した世帯について一覧に記入する。市町はオンライン回答や郵送提出等の世帯の情報を調査員に伝達（一覧に提出世帯の情報を集約）し、未提出世帯を特定する。

カ 調査員は、市町から伝達された情報（一覧）に基づいて未提出世帯を訪問し、面接の上、調査票を直接回収する。

キ 未提出世帯が不在等の場合は、調査員は再三訪問するなどして世帯との面接に努める。なお、世帯と面接できないなど、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合は、調査員は近隣の世帯等から、氏名、男女の別及び世帯員の数の3項目を聴取し、調査票の記入を行うものとする（聞き取り調査）。

ク 聞き取り調査を行った世帯に対し、調査員は『調査票提出のお願い』（督促状）、調査票等を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布し、当該世帯からの調査票の提出を促す。

(3) 報告の方法

世帯主（世帯の代表者を含む。）又は世帯員が調査票に記入（一部の調査事項については、調査員が記入）することにより報告を行う。

7 世帯アンケートの実施

(1) 把握事項

当試験調査における検討事項について、より客観的な検証を行うために、『世帯アンケート』を用いて、次の事項を把握

なお、オンライン回答の世帯に対しては、次のウのみ把握

ア 調査票の提出方法について

イ 調査票の規格について

ウ オンライン回答について

エ 調査員との面接状況等について

(2) 実施方法

当初回収期間内に調査票提出済みの世帯に対しては、未提出世帯回収期間に調査員が『世帯アンケート』及び返信用封筒を郵便受けに入れるなどして配布し、記入を依頼した。

また、当初回収期間内に調査票が未提出の世帯に対しては、当該世帯から調査票を直接回収した際に『世帯アンケート』及び返信用封筒を配布し、記入依頼を行った。調査票未提出世帯が不在等で、最終的に調査票の回収ができない場合には、『調査票提出のお願い』（督促状）や調査票等とともに、『世帯アンケート』及び返信用封筒を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布した。

『世帯アンケート』の提出は、世帯が、配布した返信用封筒を使用して、統計局に郵送することにより行った。

なお、オンライン回答の世帯に対しては、オンライン回答に引き続き、オンライン上でアンケートに回答してもらう方法により実施した。

8 その他

当試験調査は、国勢調査令（昭和55年政令第98号）第15条第1項第6号及び第2項第8号に規定する「調査方法についての基礎調査」として実施した。

なお、調査の実施については、統計法に基づく一般統計調査として総務大臣の承認を得ている。

平成 27 年国勢調査第 1 次試験調査 主要日程

先行方式

時期	世帯	調査員	市町	府県
5月上旬			事務打合せ会出席(統計局開催)	事務打合せ会出席 (統計局開催)
6月上旬		調査員事務打合せ会出席	調査員事務打合せ会開催	調査員事務打合せ会出席
6月17日～19日		調査地域の確認, 『調査についてのお知らせ』の配布, 『調査世帯一覧』の作成		
6月26日	オンライン提出の期限		オンライン回答世帯の特定	
6月27日～7月3日				
7月4日～11日		オンライン未回答世帯に対する調査票の配布	調査員へのオンライン回答世帯の伝達	
7月12日		調査期日		
7月12日～18日		調査票の当初回収(オンライン回答世帯以外の世帯に訪問)		
7月18日	調査票の提出期限			
7月19日～22日		『調査へのご協力ありがとうございます』(確認状)の配布(調査員提出以外の世帯)		
7月19日～25日			①郵送提出世帯の特定 ②調査員への郵送提出世帯の伝達	
7月26日～29日		未提出世帯からの回収(聞き取り調査の実施及び『調査票提出のお願い』(督促状)の配布)		
7月中旬～8月中旬			調査票等の審査	
7月下旬～8月上旬			調査書類審査会開催	調査書類審査会出席
8月上旬		調査員報告会出席	調査員報告会開催	調査員報告会出席
8月下旬				統計局への調査票等の提出
8月下旬			事後報告会出席(統計局開催)	事後報告会出席(統計局開催)

並行方式

時期	世帯	調査員	市町	府県
5月上旬			事務打合せ会出席(統計局開催)	事務打合せ会出席 (統計局開催)
6月中旬		調査員事務打合せ会出席	調査員事務打合せ会開催	調査員事務打合せ会出席
7月1日～3日		調査地域の確認及び『調査についてのお知らせ』の配布		
7月4日～11日		全世帯に対する調査票等配布及び『調査世帯一覧』の作成		
7月12日 調査期日				
7月12日～18日		調査票の当初回収(全世帯訪問)		
7月18日	調査票の提出期限			
7月19日～22日		『調査へのご協力ありがとうございます』(確認状)の配布(調査員提出以外の世帯)		
7月19日～25日			①オンライン回答世帯及び郵送提出世帯の特定 ②調査員への調査票提出世帯の伝達	
7月26日～29日		未提出世帯からの回収(聞き取り調査の実施及び『調査票提出のお願い』(督促状)の配布)		
7月中旬～8月中旬			調査票等の審査	
7月下旬～8月上旬			調査書類審査会開催	調査書類審査会出席
8月上旬		調査員報告会出席	調査員報告会開催	調査員報告会出席
8月下旬				統計局への調査票等の提出
8月下旬			事後報告会出席(統計局開催)	事後報告会出席(統計局開催)

Ⅱ 調査票の集計結果

第1 調査票の回収状況

1 全体の回収状況

調査対象世帯は、先行方式が9,708世帯、並行方式が9,015世帯となっている。

これらを回収方法別にみると、先行方式では、調査員回収は1,305世帯(13.4%)、郵送回収は4,246世帯(43.7%)、オンライン回収は2,452世帯(25.3%)、聞き取り調査は1,705世帯(17.6%)となっている。

並行方式では、調査員回収は2,373世帯(26.3%)、郵送回収は4,559世帯(50.6%)、オンライン回収は584世帯(6.5%)、聞き取り調査は1,499世帯(16.6%)となっている。

先行方式と並行方式を比べると、オンライン回収率は、先行方式(25.3%)が、並行方式(6.5%)の約4倍となっている。

表1 回収方法別 世帯数

	総数	総数				当初回収				未提出世帯からの回収				うち 聞き取り調査後回収(注)				聞き取り調査	
		総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収		
実数	先行方式	9,708	8,003	1,305	4,246	2,452	7,436	1,161	3,823	2,452	567	144	423	-	271	9	262	-	1,705
	並行方式	9,015	7,516	2,373	4,559	584	7,240	2,285	4,396	559	276	88	163	25	74	4	68	2	1,499
構成比1 (%)	先行方式	100.0	82.4	13.4	43.7	25.3	76.6	12.0	39.4	25.3	5.8	1.5	4.4	-	2.8	0.1	2.7	-	17.6
	並行方式	100.0	83.4	26.3	50.6	6.5	80.3	25.3	48.8	6.2	3.1	1.0	1.8	0.3	0.8	0.0	0.8	0.0	16.6
構成比2 (%)	先行方式	100.0	100.0	16.3	53.1	30.6	92.9	14.5	47.8	30.6	7.1	1.8	5.3	-	3.4	0.1	3.3	-	
	並行方式	100.0	100.0	31.6	60.7	7.8	96.3	30.4	58.5	7.4	3.7	1.2	2.2	0.3	1.0	0.1	0.9	0.0	

(注) 聞き取り調査後回収…一旦は、調査票を回収できなかった世帯(聞き取り調査の世帯)として取り扱った世帯から、その後、調査票が提出された場合(以下同じ。)

表2 市区町村別、回収方法別 世帯数

	総数	実数				構成比(%)					
		調査員回収	郵送回収	オンライン回収	聞き取り調査	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	聞き取り調査		
先行方式	玉村町	1,280	288	551	318	123	100.0	22.5	43.0	24.8	9.6
	小田原市	1,555	87	691	384	393	100.0	5.6	44.4	24.7	25.3
	四日市市	1,633	72	649	505	407	100.0	4.4	39.7	30.9	24.9
	大阪市都島区	1,215	154	574	313	174	100.0	12.7	47.2	25.8	14.3
	出雲市	1,640	196	807	406	231	100.0	12.0	49.2	24.8	14.1
	松山市	1,567	228	559	419	361	100.0	14.6	35.7	26.7	23.0
	白石町	818	280	415	107	16	100.0	34.2	50.7	13.1	2.0
並行方式	高崎市	1,267	398	681	74	114	100.0	31.4	53.7	5.8	9.0
	川崎市宮前区	1,688	196	842	174	476	100.0	11.6	49.9	10.3	28.2
	松阪市	1,261	492	509	55	205	100.0	39.0	40.4	4.4	16.3
	豊中市	1,433	197	807	105	324	100.0	13.7	56.3	7.3	22.6
	吉賀町	362	271	77	11	3	100.0	74.9	21.3	3.0	0.8
	今治市	1,600	504	842	59	195	100.0	31.5	52.6	3.7	12.2
	佐賀市	1,404	315	801	106	182	100.0	22.4	57.1	7.5	13.0

《平成27年国勢調査第1次試験調査における市区町別の調査実施地域の特性》

	オートロックマンション地域	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	一戸建の多い地域	その他の共同住宅の多い地域
先行方式	玉村町			○
	小田原市	○	○	○
	四日市市	○	○	○
	大阪市都島区	○	○	
	出雲市	○	○	○
	松山市	○	○	○
	白石町			○
並行方式	高崎市	○	○	○
	川崎市宮前区	○	○	
	松阪市	○	○	○
	豊中市	○	○	○
	吉賀町			○
	今治市	○	○	○
	佐賀市	○	○	○

2 地域特性別の回収状況

地域特性別に回収率をみると、「一戸建の多い地域」（先行方式 92.8%、並行方式 96.4%）で高くなっている一方、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」（先行方式 72.0%、並行方式 68.4%）で低くなっている。

また、オンライン回収率は、先行方式では、「オートロックマンション地域」（35.9%）が最も高く、以下、「一戸建の多い地域」（28.5%）、「その他の共同住宅の多い地域」（20.4%）、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」（16.2%）の順になっている。

表3 地域特性別、回収方法別 世帯数

		総数	総数				当初回収				未提出世帯からの回収				うち、聞き取り調査後回収				聞き取り調査	
			総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収		
																				聞き取り調査
実数	先行方式	オートロックマンション地域	2,412	2,097	212	1,018	867	1,962	183	912	867	135	29	106	-	79	4	75	-	315
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,272	1,635	173	1,094	368	1,466	138	960	368	169	35	134	-	55	0	55	-	637
		一戸建の多い地域	2,380	2,209	549	982	678	2,110	511	921	678	99	38	61	-	60	2	58	-	171
		その他の共同住宅の多い地域	2,644	2,062	371	1,152	539	1,898	329	1,030	539	164	42	122	-	77	3	74	-	582
	並行方式	オートロックマンション地域	2,323	2,093	434	1,448	211	2,008	412	1,394	202	85	22	54	9	25	1	23	1	230
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,566	1,755	480	1,103	172	1,678	449	1,066	163	77	31	37	9	18	0	18	0	811
		一戸建の多い地域	2,111	2,034	939	1,013	82	1,985	924	982	79	49	15	31	3	13	1	11	1	77
		その他の共同住宅の多い地域	2,015	1,634	520	995	119	1,569	500	954	115	65	20	41	4	18	2	16	0	381
構成比1 (%)	先行方式	オートロックマンション地域	100.0	86.9	8.8	42.2	35.9	81.3	7.6	37.8	35.9	5.6	1.2	4.4	-	3.3	0.2	3.1	-	13.1
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	72.0	7.6	48.2	16.2	64.5	6.1	42.3	16.2	7.4	1.5	5.9	-	2.4	0.0	2.4	-	28.0
		一戸建の多い地域	100.0	92.8	23.1	41.3	28.5	88.7	21.5	38.7	28.5	4.2	1.6	2.6	-	2.5	0.1	2.4	-	7.2
		その他の共同住宅の多い地域	100.0	78.0	14.0	43.6	20.4	71.8	12.4	39.0	20.4	6.2	1.6	4.6	-	2.9	0.1	2.8	-	22.0
	並行方式	オートロックマンション地域	100.0	90.1	18.7	62.3	9.1	86.4	17.7	60.0	8.7	3.7	0.9	2.3	0.4	1.1	0.0	1.0	0.0	9.9
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	68.4	18.7	43.0	6.7	65.4	17.5	41.5	6.4	3.0	1.2	1.4	0.4	0.7	0.0	0.7	0.0	31.6
		一戸建の多い地域	100.0	96.4	44.5	48.0	3.9	94.0	43.8	46.5	3.7	2.3	0.7	1.5	0.1	0.6	0.0	0.5	0.0	3.6
		その他の共同住宅の多い地域	100.0	81.1	25.8	49.4	5.9	77.9	24.8	47.3	5.7	3.2	1.0	2.0	0.2	0.9	0.1	0.8	0.0	18.9
構成比2 (%)	先行方式	オートロックマンション地域	100.0	10.1	48.5	41.3	93.6	8.7	43.5	41.3	6.4	1.4	5.1	-	3.8	0.2	3.6	-	-	
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	10.6	66.9	22.5	89.7	8.4	58.7	22.5	10.3	2.1	8.2	-	3.4	0.0	3.4	-	-	
		一戸建の多い地域	100.0	24.9	44.5	30.7	95.5	23.1	41.7	30.7	4.5	1.7	2.8	-	2.7	0.1	2.6	-	-	
		その他の共同住宅の多い地域	100.0	18.0	55.9	26.1	92.0	16.0	50.0	26.1	8.0	2.0	5.9	-	3.7	0.1	3.6	-	-	
	並行方式	オートロックマンション地域	100.0	20.7	69.2	10.1	95.9	19.7	66.6	9.7	4.1	1.1	2.6	0.4	1.2	0.0	1.1	0.0	0.0	
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	27.4	62.8	9.8	95.6	25.6	60.7	9.3	4.4	1.8	2.1	0.5	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	
		一戸建の多い地域	100.0	46.2	49.8	4.0	97.6	45.4	48.3	3.9	2.4	0.7	1.5	0.1	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	
		その他の共同住宅の多い地域	100.0	31.8	60.9	7.3	96.0	30.6	58.4	7.0	4.0	1.2	2.5	0.2	1.1	0.1	1.0	0.0	0.0	

3 世帯人員別・世帯主年齢階級別の回収状況

世帯人員別に回収率をみると、調査票を回収した世帯（聞き取り調査の世帯を除く）におけるオンライン回収率は、先行方式では、概ね30%以上の水準にあるが、単身世帯（21.8%）は30%を下回っている。

世帯主年齢階級別に回収率をみると、調査票を回収した世帯（聞き取り調査の世帯を除く）におけるオンライン回収率は、先行方式では、世帯主年齢40～59歳の世帯（44.6%）が最も高く、以下、世帯主年齢39歳以下の世帯（39.6%）、世帯主年齢60歳以上の世帯（22.8%）の順になっている。

表4 世帯人員別、回収方法別 世帯数

		総数				当初回収				未提出世帯からの回収				うち 聞き取り調査後回収				
		総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	
実数	先行方式	単身世帯	2,522	364	1,608	550	2,260	315	1,395	550	262	49	213	-	131	5	126	-
		世帯人員2人の世帯	2,084	377	1,069	638	1,970	344	988	638	114	33	81	-	59	2	57	-
		世帯人員3人の世帯	1,561	247	750	564	1,471	220	687	564	90	27	63	-	43	1	42	-
		世帯人員4人の世帯	1,218	172	568	478	1,146	147	521	478	72	25	47	-	26	1	25	-
		世帯人員5人以上の世帯	618	145	251	222	589	135	232	222	29	10	19	-	12	0	12	-
	並行方式	単身世帯	2,471	682	1,552	237	2,355	647	1,482	226	116	35	70	11	33	2	31	0
		世帯人員2人の世帯	2,153	752	1,289	112	2,104	736	1,260	108	49	16	29	4	13	1	11	1
		世帯人員3人の世帯	1,369	445	811	113	1,320	431	784	105	49	14	27	8	15	1	13	1
		世帯人員4人の世帯	1,104	320	690	94	1,057	303	662	92	47	17	28	2	8	0	8	0
		世帯人員5人以上の世帯	419	174	217	28	404	168	208	28	15	6	9	0	5	0	5	0
構成比 (%)	先行方式	単身世帯	100.0	14.4	63.8	21.8	89.6	12.5	55.3	21.8	10.4	1.9	8.4	-	5.2	0.2	5.0	-
		世帯人員2人の世帯	100.0	18.1	51.3	30.6	94.5	16.5	47.4	30.6	5.5	1.6	3.9	-	2.8	0.1	2.7	-
		世帯人員3人の世帯	100.0	15.8	48.0	36.1	94.2	14.1	44.0	36.1	5.8	1.7	4.0	-	2.8	0.1	2.7	-
		世帯人員4人の世帯	100.0	14.1	46.6	39.2	94.1	12.1	42.8	39.2	5.9	2.1	3.9	-	2.1	0.1	2.1	-
		世帯人員5人以上の世帯	100.0	23.5	40.6	35.9	95.3	21.8	37.5	35.9	4.7	1.6	3.1	-	1.9	0.0	1.9	-
	並行方式	単身世帯	100.0	27.6	62.8	9.6	95.3	26.2	60.0	9.1	4.7	1.4	2.8	0.4	1.3	0.1	1.3	0.0
		世帯人員2人の世帯	100.0	34.9	59.9	5.2	97.7	34.2	58.5	5.0	2.3	0.7	1.3	0.2	0.6	0.0	0.5	0.0
		世帯人員3人の世帯	100.0	32.5	59.2	8.3	96.4	31.5	57.3	7.7	3.6	1.0	2.0	0.6	1.1	0.1	0.9	0.1
		世帯人員4人の世帯	100.0	29.0	62.5	8.5	95.7	27.4	60.0	8.3	4.3	1.5	2.5	0.2	0.7	0.0	0.7	0.0
		世帯人員5人以上の世帯	100.0	41.5	51.8	6.7	96.4	40.1	49.6	6.7	3.6	1.4	2.1	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0

※ 聞き取り調査を除く

表5 世帯主年齢階級別、回収方法別 世帯数

		総数				当初回収				未提出世帯からの回収				うち 聞き取り調査後回収				
		総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	総数	調査員回収	郵送回収	オンライン回収	
実数	先行方式	世帯主年齢 ～39歳の世帯	1,559	134	807	618	1,401	104	679	618	158	30	128	-	85	0	85	-
		世帯主年齢 40～59歳の世帯	2,745	314	1,206	1,225	2,586	280	1,081	1,225	159	34	125	-	78	1	77	-
		世帯主年齢 60歳～の世帯	2,667	612	1,446	609	2,533	567	1,357	609	134	45	89	-	59	7	52	-
		世帯主年齢 不詳の世帯	1,032	245	787	0	916	210	706	0	116	35	81	-	49	1	48	-
	並行方式	世帯主年齢 ～39歳の世帯	1,425	306	890	229	1,342	278	847	217	83	28	43	12	16	0	16	0
		世帯主年齢 40～59歳の世帯	2,241	552	1,424	265	2,159	526	1,377	256	82	26	47	9	22	0	20	2
		世帯主年齢 60歳～の世帯	2,583	1,154	1,339	90	2,537	1,136	1,315	86	46	18	24	4	6	2	4	0
		世帯主年齢 不詳の世帯	1,267	361	906	0	1,202	345	857	0	65	16	49	0	30	2	28	0
構成比 (%)	先行方式	世帯主年齢 ～39歳の世帯	100.0	8.6	51.8	39.6	89.9	6.7	43.6	39.6	10.1	1.9	8.2	-	5.5	0.0	5.5	-
		世帯主年齢 40～59歳の世帯	100.0	11.4	43.9	44.6	94.2	10.2	39.4	44.6	5.8	1.2	4.6	-	2.8	0.0	2.8	-
		世帯主年齢 60歳～の世帯	100.0	22.9	54.2	22.8	95.0	21.3	50.9	22.8	5.0	1.7	3.3	-	2.2	0.3	1.9	-
		世帯主年齢 不詳の世帯	100.0	23.7	76.3	0.0	88.8	20.3	68.4	0.0	11.2	3.4	7.8	-	4.7	0.1	4.7	-
	並行方式	世帯主年齢 ～39歳の世帯	100.0	21.5	62.5	16.1	94.2	19.5	59.4	15.2	5.8	2.0	3.0	0.8	1.1	0.0	1.1	0.0
		世帯主年齢 40～59歳の世帯	100.0	24.6	63.5	11.8	96.3	23.5	61.4	11.4	3.7	1.2	2.1	0.4	1.0	0.0	0.9	0.1
		世帯主年齢 60歳～の世帯	100.0	44.7	51.8	3.5	98.2	44.0	50.9	3.3	1.8	0.7	0.9	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0
		世帯主年齢 不詳の世帯	100.0	28.5	71.5	0.0	94.9	27.2	67.6	0.0	5.1	1.3	3.9	0.0	2.4	0.2	2.2	0.0

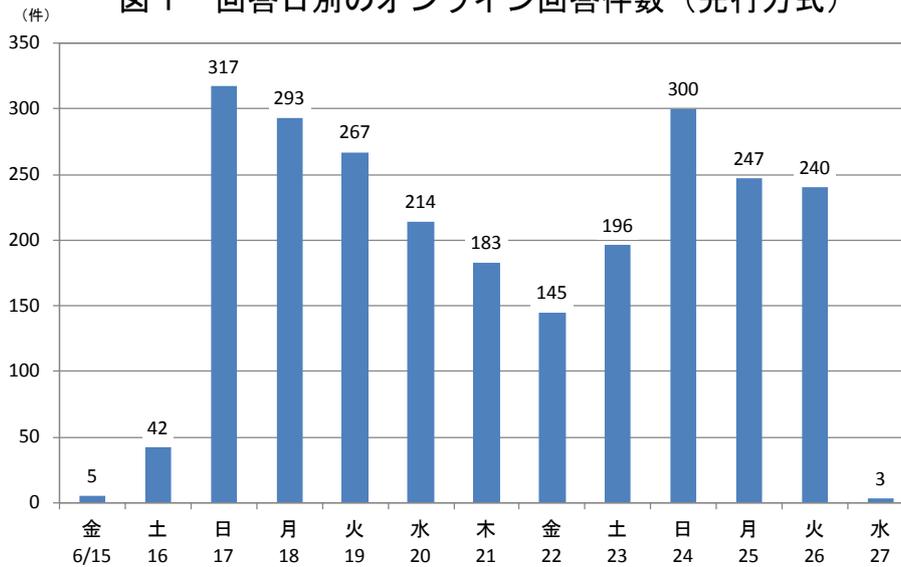
※ 聞き取り調査を除く

4 オンライン回収 回答曜日別の状況

先行方式は、回答期間の初日 6/17 でピークとなり、以降減少していき、回答期間の締め切り直前で再度回答数が増加する傾向となっている。また、週末の土曜日・日曜日にも回答が増加する傾向にある。

並行方式も同様で、当初回答期間初日 7/12 がピークとなり、当初回答期間の締め切り直前で増加する傾向となっている。

図1 回答日別のオンライン回答件数（先行方式）



※ 回答期間は 6/17～6/26

6/27 の 3 件については、6/26 の 24 時前にログインし、6/27 にまたがって回答したものの。

図2 回答日別のオンライン回答件数（並行方式）



※ 当初回答期間は 7/12～7/18。ただし、7/31 までオンライン回答を受け付けた。

5 オンライン回収 回答時間帯別の状況

回答時間帯別に回答状況をみると、先行方式は20:00～21:59に特に集中して増加し、並行方式は16:00～23:59に増加している。

図3 時間帯別にみた回答件数の推移（1日当たり平均）（先行方式）

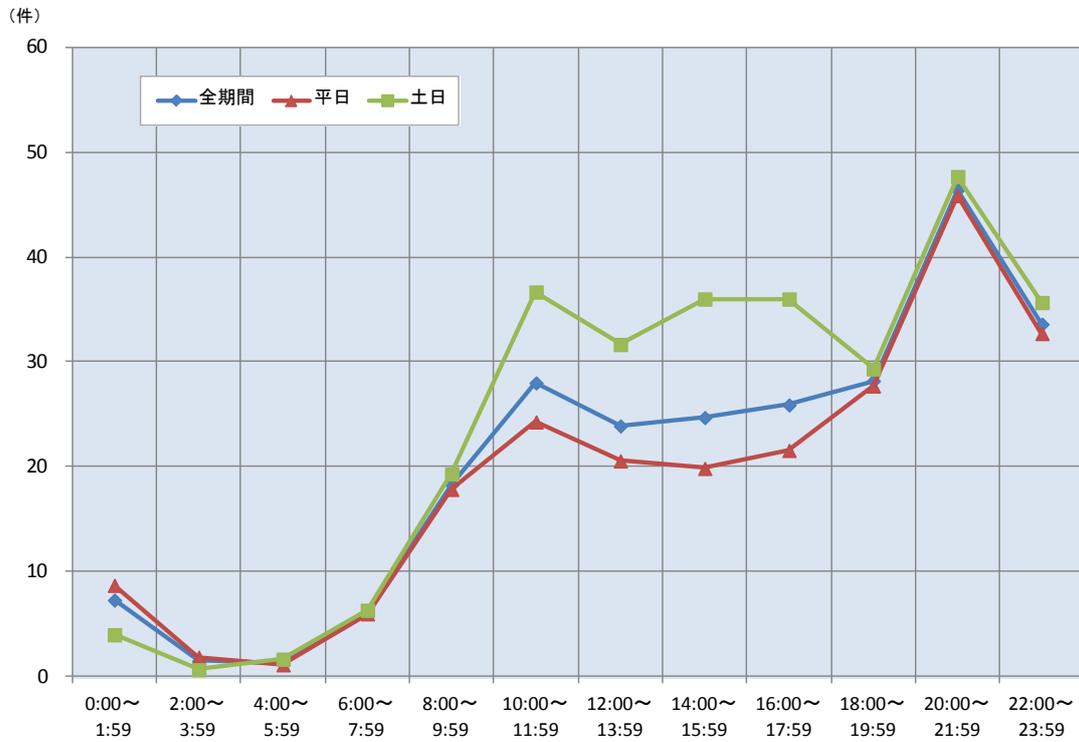
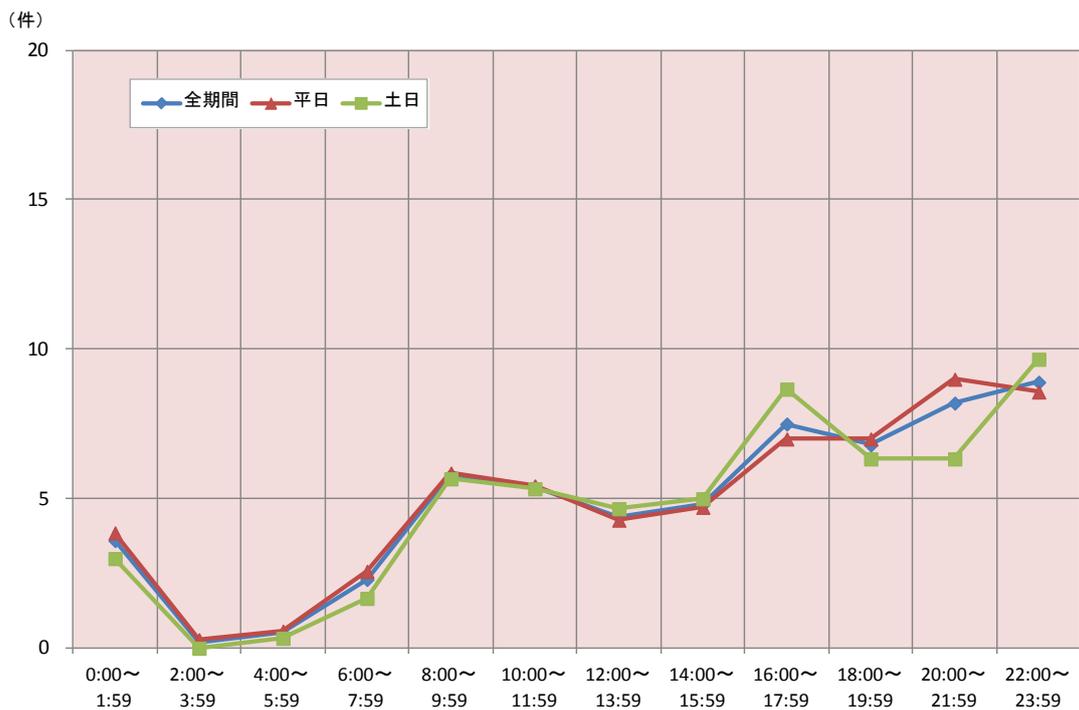


図4 時間帯別にみた回答件数の推移（1日当たり平均）（並行方式）



6 オンライン回収 使用端末別の回答状況

PCでの回答がほとんどであったが、推奨していないタブレット型端末やスマートフォンでの回答も行われた。

タブレット型端末やスマートフォンの携帯端末は、20歳代から40歳代までの使用が多かった。

図5 使用端末の回答の割合

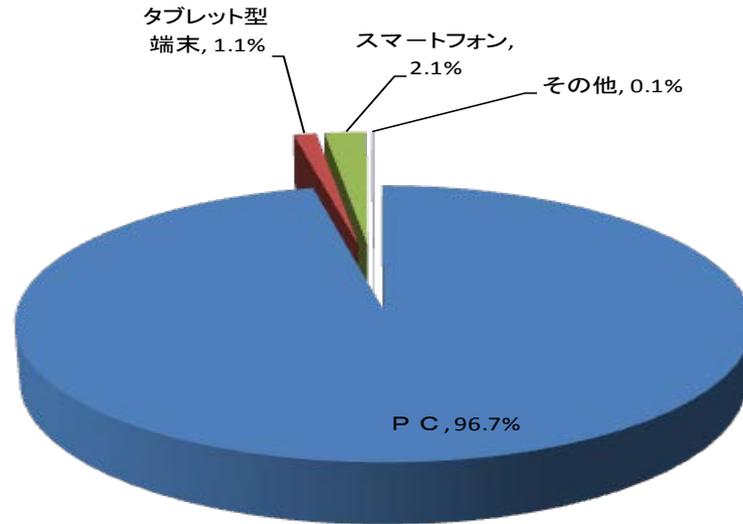
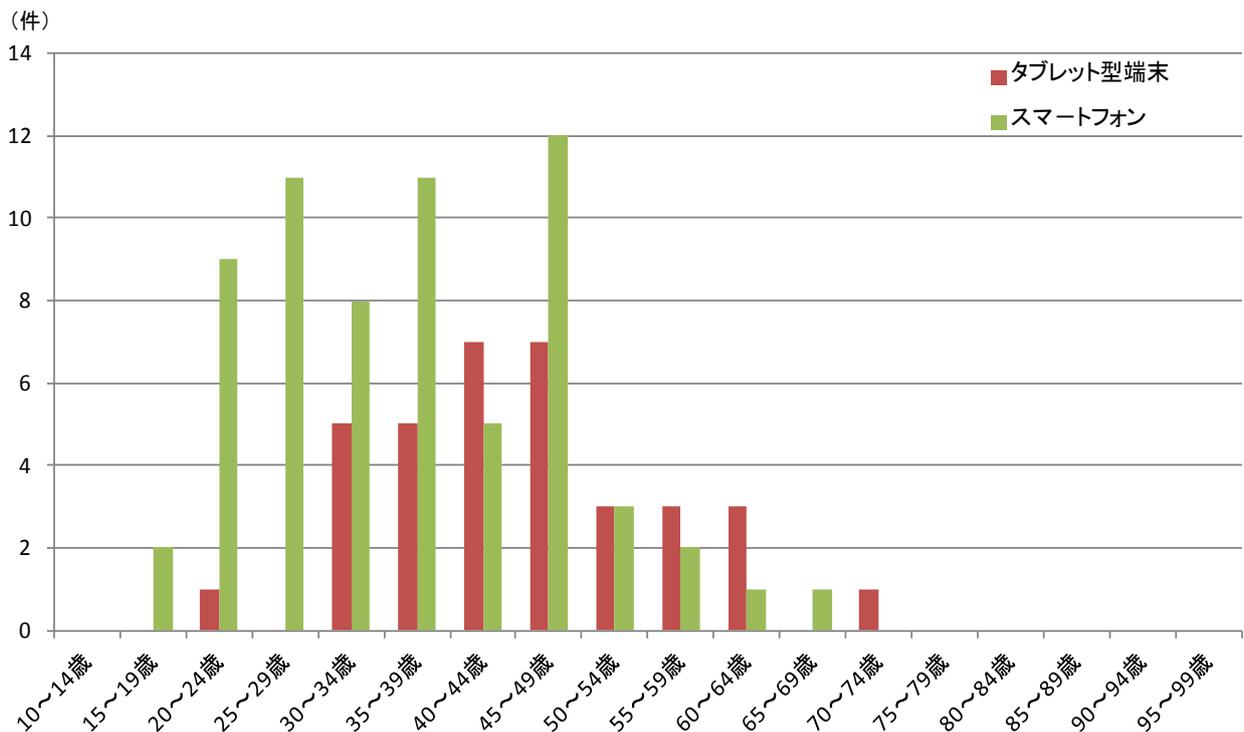


図6 世帯主の年齢別にみた携帯端末の回答件数



第2 面接の状況

調査票等の配布時に面接できなかった世帯の割合は31.8%となっている。
地域特性別にみると、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」が最も高く、44.4%となっている。

表6 面接可否の別、地域特性別 世帯数

		合計	オートロックマンション地域	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	一戸建の多い地域	その他の共同住宅の多い地域
実数	合計	18,723	4,735	4,838	4,491	4,659
	配布時に面接できた世帯	12,768	3,171	2,691	4,009	2,897
	配布時に面接できなかった世帯	5,955	1,564	2,147	482	1,762
構成比 (%)	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	配布時に面接できた世帯	68.2	67.0	55.6	89.3	62.2
	配布時に面接できなかった世帯	31.8	33.0	44.4	10.7	37.8

また、調査票を回収できなかった世帯（聞き取り調査の世帯）の割合は、調査票等の配布時に世帯と面接できなかった場合（31.7%）が、面接できた場合（10.3%）に比べて、約3倍も高い。

地域特性別にみると、「オートロックマンション地域」、「一戸建の多い地域」及び「その他の共同住宅の多い地域」では、調査票等の配布時に世帯と面接できた場合には、9割前後（それぞれ91.7%、96.7%及び87.2%）の世帯から調査票を回収できている。

一方で、調査票等の配布時に世帯と面接できなかった場合の調査票の回収率は、「オートロックマンション地域」が81.9%、「一戸建の多い地域」が75.9%、「その他の共同住宅の多い地域」が66.5%と、地域特性別にばらつきが大きくなっている。また、「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」では、半数程度（58.2%）の回収率にとどまっている。

表7 調査票回収の有無別、地域特性別、調査票等の配布時の面接可否の別 世帯数

		合計		オートロックマンション地域		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域		一戸建の多い地域		その他の共同住宅の多い地域	
		配布時に面接できた世帯	配布時に面接できなかった世帯	配布時に面接できた世帯	配布時に面接できなかった世帯	配布時に面接できた世帯	配布時に面接できなかった世帯	配布時に面接できた世帯	配布時に面接できなかった世帯	配布時に面接できた世帯	配布時に面接できなかった世帯
実数	合計	12,768	5,955	3,171	1,564	2,691	2,147	4,009	482	2,897	1,762
	調査票回収あり	11,452	4,067	2,909	1,281	2,141	1,249	3,877	366	2,525	1,171
	聞き取り調査	1,316	1,888	262	283	550	898	132	116	372	591
構成比 (%)	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	調査票回収あり	89.7	68.3	91.7	81.9	79.6	58.2	96.7	75.9	87.2	66.5
	聞き取り調査	10.3	31.7	8.3	18.1	20.4	41.8	3.3	24.1	12.8	33.5

第3 調査票の記入状況

平成27年国勢調査第1次試験調査では、調査票の設計等のための基礎資料とするため、世帯による調査票の記入状況をありのままに把握することとしたため、世帯が調査票に記入した内容については、調査員による検査は行わないこととし、また、市区町による審査において記入不備（記入漏れ及びダブルマーク）を検出しても直接訂正しないこととしている（市区町による訂正は赤鉛筆での見え消し）。したがって、この「第3 調査票の記入状況」において掲載している調査票の記入状況については、世帯が調査票に記入した内容をそのまま集計している。なお、①オンライン回収の世帯、②聞き取り調査の世帯については、集計から除外している。

1 調査票を回収した世帯の世帯員の数

調査票を回収した世帯の世帯員の数は、全体で29,717人であった。

これを世帯属性別の構成比でみると、地域特性別の「ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域」、世帯人員別の「単身世帯」及び「5人以上の世帯」、世帯主年齢階級別の「～39歳の世帯」で低くなっている。

表8 世帯属性別 調査票を回収した世帯の世帯員の数

		実数	構成比(%)
総数		29,717	100.0
調査票の種類	調査票甲	14,976	50.4
	調査票乙	14,741	49.6
回収方法	調査員回収	9,524	32.0
	郵送回収	20,193	68.0
地域特性	オートロックマンション地域	7,672	25.8
	ワンルームマンションなど 単身者が居住する住宅の多い地域	4,946	16.6
	一戸建の多い地域	10,100	34.0
	その他の共同住宅の多い地域	6,999	23.6
世帯人員	単身世帯	4,405	14.8
	2人の世帯	7,026	23.6
	3人の世帯	6,822	23.0
	4人の世帯	7,000	23.6
	5人以上の世帯	4,464	15.0
世帯主年齢階級	～39歳の世帯	4,678	15.7
	40～59歳の世帯	9,480	31.9
	60歳～の世帯	10,504	35.3
	不詳の世帯	5,055	17.0

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

【平成 27 年国勢調査第 1 次試験調査における、2 種類の調査票様式（甲・乙）】

- ① A 4 判“両面記入”の調査票様式では、裏面（第 2 面）見落としに帰因する記入漏れが発生しているという仮定のもと、A 3 判“片面のみ記入”の調査票様式（調査票乙）を使用して、従前から使用している A 4 判“両面記入”の調査票様式（調査票甲）との記入状況を比較した。
- ② また、「勤め先・業主などの名称」を回答することへの忌避感から、「勤め先・業主などの名称」のみならず、これに続く設問である「事業の内容」・「仕事の内容」の回答まで止めてしまう世帯も発生しているという仮定のもと、設問順を「仕事の内容」・「事業の内容」・「勤め先・業主などの名称」に変更した調査票様式（調査票乙）を使用して、従前どおりの設問順（「勤め先・業主などの名称」・「事業の内容」・「仕事の内容」）である調査票様式（調査票甲）との記入状況を比較した。

（参考） 「勤め先・業主などの名称」・「事業の内容」・「仕事の内容」欄の設問順

調査票 甲		調査票 乙	
<p>11 勤め先・業主などの名称及び事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事をしている事業所(本社 支店 営業所 工場 商店など)の名称を書いてください(官公庁は課名まで) <p style="text-align: right;">勤め先・業主などの名称</p> <ul style="list-style-type: none"> • その事業所で主に営まれている事業の内容をくわしく書いてください • 労働者派遣事業所の派遣社員は 派遣先について書いてください <p style="text-align: right;">事業の内容</p>		<p>11 本人の仕事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください <p style="text-align: right;">仕事の内容</p>	
<p>12 本人の仕事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください <p style="text-align: right;">仕事の内容</p>		<p>12 勤め先・業主などの名称及び事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • その事業所で主に営まれている事業の内容をくわしく書いてください • 労働者派遣事業所の派遣社員は 派遣先について書いてください <p style="text-align: right;">事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仕事をしている事業所(本社 支店 営業所 工場 商店など)の名称を書いてください(官公庁は課名まで) <p style="text-align: right;">勤め先・業主などの名称</p>	

2 世帯員項目の記入状況

(1) 調査票の種類別に記入状況をみると、記入不備の割合に大きな差異はなかった。

表9 調査票の種類別 調査項目の不備の割合

		調査票 甲			調査票 乙			
		記入漏れ	ダブルマーク		記入漏れ	ダブルマーク		
第1面	男女の別	1.5	1.5	0.0	1.3	1.2	0.0	
	世帯主との続柄	2.6	2.4	0.2	2.2	2.0	0.2	
	出生の年月(元号・西暦)	3.5	3.4	0.1	3.8	3.7	0.1	
	配偶の関係	10.2	10.1	0.0	10.5	10.4	0.0	
	国籍	マーク	4.2	4.2	0.1	3.9	3.8	0.0
		国名	4.1	4.1	-	3.6	3.6	-
		現在の住居における居住期間	1.7	1.4	0.3	1.6	1.2	0.3
		5年前の住居の所在地	3.7	3.7	0.0	3.9	3.9	0.0
	他の区・市町村の場合の区市町村名	2.1	2.1	-	2.6	2.6	-	
第2面	就業状態	6.5	5.2	1.3	6.5	5.2	1.3	
	従業地又は通学地	11.1	11.0	0.1	11.4	11.3	0.1	
		他の区・市町村の場合の区市町村名	8.5	8.5	-	8.6	8.6	-
	従業上の地位	8.0	7.4	0.6	8.1	7.5	0.6	
	勤め先・業主などの名称	9.2	9.2	-	11.4	11.4	-	
	事業の内容	10.4	10.4	-	11.6	11.6	-	
仕事の内容	10.0	10.0	-	8.4	8.4	-		

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

表10 調査票の種類別 調査票第2面が白紙(無記入)の割合

	調査票 甲	調査票 乙
第2面	4.1	5.1

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

(2) 回収方法別の記入状況をみると、ほとんどの調査項目で、調査員回収（全部封入）が郵送回収よりも、やや記入不備の割合が高くなっている。

表11 回収方法別 調査項目の不備の割合

		調査員回収			郵送回収			
		記入漏れ	ダブルマーク		記入漏れ	ダブルマーク		
第1面	男女の別	1.8	1.8	0.0	1.2	1.2	0.0	
	世帯主との続き柄	3.0	2.8	0.2	2.0	1.9	0.2	
	出生の年月(元号・西暦)	4.3	4.3	0.1	3.3	3.2	0.1	
	配偶の関係	13.4	13.3	0.0	8.9	8.9	0.0	
	国籍	マーク	5.0	5.0	0.0	3.6	3.6	0.0
		国名	4.8	4.8	-	3.4	3.4	-
	現在の住居における居住期間	2.3	1.8	0.5	1.3	1.1	0.2	
	5年前の住居の所在地	4.7	4.7	0.0	3.4	3.4	0.1	
	他の区・市町村の場合の区市町村名	3.5	3.5	-	1.8	1.8	-	
	第2面	就業状態	8.5	7.1	1.4	5.6	4.3	1.3
従業地又は通学地		13.5	13.4	0.1	10.2	10.1	0.1	
		他の区・市町村の場合の区市町村名	11.0	11.0	-	7.4	7.4	-
従業上の地位		10.5	9.8	0.7	6.9	6.3	0.6	
勤め先・業主などの名称		13.1	13.1	-	9.0	9.0	-	
事業の内容		13.9	13.9	-	9.7	9.7	-	
仕事の内容		11.8	11.8	-	8.0	8.0	-	

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

(3) 地域特性別の記入状況をみると、オートロックマンション地域以外の地域が、「オートロックマンション地域」よりも、やや記入不備の割合が高くなっている。

表12 地域特性別 調査項目の不備の割合

		オートロックマンション地域			ワンルームマンションなど 単身者が居住する住宅の多い 地域			一戸建の多い地域			その他の共同住宅の多い地域			
		記入漏れ	ダブルマーク		記入漏れ	ダブルマーク		記入漏れ	ダブルマーク		記入漏れ	ダブルマーク		
第1面	男女の別	1.2	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	
	世帯主との続き柄	1.1	1.0	0.1	3.8	3.5	0.3	2.5	2.3	0.2	2.5	2.4	0.2	
	出生の年月(元号・西暦)	3.0	2.9	0.1	3.7	3.5	0.1	4.2	4.1	0.0	3.5	3.4	0.1	
	配偶の関係	7.6	7.6	0.0	9.9	9.8	0.1	12.7	12.7	0.0	10.1	10.1	0.0	
	国籍	マーク	2.5	2.5	0.0	4.5	4.4	0.1	5.1	5.1	0.0	3.9	3.9	0.0
		国名	2.3	2.3	-	4.2	4.2	-	5.0	5.0	-	3.7	3.7	-
	現在の住居における居住期間	1.0	0.8	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	1.5	0.5	1.6	1.4	0.2	
	5年前の住居の所在地	3.4	3.3	0.1	4.4	4.4	0.0	3.4	3.3	0.0	4.6	4.6	0.1	
	他の区・市町村の場合の区市町村名	1.7	1.7	-	2.6	2.6	-	2.7	2.7	-	2.4	2.4	-	
	第2面	就業状態	3.7	2.6	1.0	7.8	6.0	1.9	8.1	6.8	1.3	6.4	5.1	1.3
従業地又は通学地		8.8	8.8	0.1	12.1	12.1	0.1	13.0	13.0	0.1	10.7	10.6	0.1	
		他の区・市町村の場合の区市町村名	5.3	5.3	-	9.4	9.4	-	10.9	10.9	-	8.2	8.2	-
従業上の地位		4.9	4.4	0.5	8.5	7.9	0.5	10.1	9.5	0.6	8.1	7.4	0.8	
勤め先・業主などの名称		6.1	6.1	-	11.1	11.1	-	13.2	13.2	-	10.2	10.2	-	
事業の内容		6.6	6.6	-	11.5	11.5	-	13.8	13.8	-	11.4	11.4	-	
仕事の内容		5.8	5.8	-	9.7	9.7	-	11.6	11.6	-	9.1	9.1	-	

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

(4) 世帯人員別の記入状況をみると、第2面の調査項目で、単身世帯及び世帯人員2人の世帯が、他の世帯よりも、記入不備の割合が高くなっている。

表13 世帯人員別 調査項目の不備の割合

		単身世帯		世帯人員2人の世帯		世帯人員3人の世帯				
		記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク			
第1面	男女の別	1.3	1.2	0.0	1.0	1.0	0.0	1.4	1.4	0.0
	世帯主との続き柄	4.9	4.8	0.0	3.5	3.0	0.5	1.3	1.2	0.1
	出生の年月(元号・西暦)	1.9	1.7	0.2	5.2	5.1	0.0	4.2	4.1	0.1
	配偶の関係	9.1	9.1	0.0	14.5	14.4	0.0	10.6	10.6	0.0
	国籍	3.4	3.4	0.0	4.8	4.8	0.0	3.6	3.6	0.0
	マーク	3.3	3.3	-	4.4	4.4	-	3.5	3.5	-
	国名	1.9	1.8	0.1	1.7	1.6	0.1	1.3	1.0	0.3
	現在の住居における居住期間	6.6	6.6	0.0	2.9	2.9	0.0	3.6	3.5	0.1
	5年前の住居の所在地	4.5	4.5	-	1.4	1.4	-	1.8	1.8	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	11.1	9.9	1.2	9.8	8.1	1.7	4.5	3.3	1.2
第2面	就業状態	13.8	13.8	0.1	13.7	13.6	0.1	10.0	9.8	0.1
	従業地又は通学地	12.4	12.4	-	12.2	12.2	-	6.6	6.6	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	12.1	11.2	0.9	12.4	11.5	0.9	6.3	5.7	0.6
	従業上の地位	13.7	13.7	-	15.3	15.3	-	8.8	8.8	-
	勤め先・業主などの名称	14.4	14.4	-	15.4	15.4	-	9.6	9.6	-
	事業の内容	12.1	12.1	-	13.4	13.4	-	7.9	7.9	-
	仕事の内容									

		世帯人員4人の世帯		世帯人員5人以上の世帯			
		記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク		
第1面	男女の別	1.4	1.4	0.0	2.2	2.2	0.0
	世帯主との続き柄	1.1	1.0	0.1	1.7	1.5	0.1
	出生の年月(元号・西暦)	2.7	2.7	0.0	3.4	3.4	0.0
	配偶の関係	7.8	7.7	0.1	8.6	8.5	0.0
	国籍	3.6	3.6	0.0	4.8	4.8	0.1
	マーク	3.5	3.5	-	4.8	4.8	-
	国名	1.3	1.1	0.3	2.5	1.5	1.0
	現在の住居における居住期間	3.4	3.4	0.0	3.7	3.7	0.0
	5年前の住居の所在地	2.4	2.4	-	2.4	2.4	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	3.4	2.1	1.3	4.7	3.8	0.9
第2面	就業状態	9.3	9.3	0.1	9.8	9.7	0.0
	従業地又は通学地	5.3	5.3	-	7.1	7.1	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	4.1	3.7	0.3	6.1	5.7	0.4
	従業上の地位	5.8	5.8	-	8.4	8.4	-
	勤め先・業主などの名称	6.7	6.7	-	9.5	9.5	-
	事業の内容	5.5	5.5	-	7.6	7.6	-
	仕事の内容						

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

(5) 世帯主年齢階級別の記入状況をみると、ほとんどの調査項目で、世帯主年齢60歳以上の世帯が、他の世帯よりも、記入不備の割合が高くなっている。

表14 世帯主年齢階級別 調査項目の不備の割合

		世帯主年齢～39歳の世帯		世帯主年齢40～59歳の世帯		世帯主年齢60歳～の世帯		世帯主年齢不詳の世帯		
		記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク	記入漏れ	ダブルマーク	
第1面	男女の別	0.8	0.8	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.2	0.0
	世帯主との続き柄	0.7	0.7	0.0	1.0	0.9	0.1	3.4	3.1	0.3
	出生の年月(元号・西暦)	1.5	1.4	0.0	2.1	2.1	0.0	3.7	3.7	0.0
	配偶の関係	5.2	5.2	0.0	7.2	7.1	0.0	15.2	15.1	0.0
	国籍	1.9	1.9	0.0	3.0	3.0	0.0	4.8	4.8	0.0
	マーク	1.9	1.9	-	2.9	2.9	-	4.7	4.7	-
	国名	1.0	0.7	0.2	1.1	0.9	0.2	1.8	1.5	0.3
	現在の住居における居住期間	6.0	5.9	0.0	2.5	2.4	0.1	3.5	3.5	0.0
	5年前の住居の所在地	3.4	3.4	-	1.1	1.1	-	2.5	2.5	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	2.6	1.8	0.9	2.6	1.6	1.0	10.7	9.1	1.5
第2面	就業状態	5.6	5.6	0.0	8.3	8.2	0.1	15.2	15.2	0.0
	従業地又は通学地	3.5	3.5	-	4.1	4.1	-	13.6	13.6	-
	他の区・市町村の場合の区市町村名	3.1	2.8	0.3	3.2	2.8	0.4	13.1	12.4	0.7
	従業上の地位	4.2	4.2	-	5.1	5.1	-	16.3	16.3	-
	勤め先・業主などの名称	5.0	5.0	-	5.7	5.7	-	17.0	17.0	-
	事業の内容	3.6	3.6	-	4.6	4.6	-	14.5	14.5	-
	仕事の内容									

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

(6) 「5年前の住居の所在地」の都道府県・区市町村名欄に記入があったものについて、都道府県・市区町村コードの格付状況をみると、都道府県コード・市区町村コードともに格付可能の割合は72.7%となっている。

また、「従業地又は通学地」の都道府県・区市町村名欄に記入があったものについて、都道府県・市区町村コードの格付状況をみると、都道府県コード・市区町村コードともに格付可能の割合は68.4%となっている。

表15 「5年前の住居の所在地」の都道府県・区市町村名の都道府県市区町村コードへの格付の可否

	合計	都道府県コード・市区町村コードともに格付可	市区町村コードのみ格付不可 〔都道府県コードは格付可〕	都道府県コード・市区町村コードともに格付不可
実数	5,393	3,923	738	732
構成比(%)	100.0	72.7	13.7	13.6

※ オンライン回収・聞き取り調査を除く

表16 「従業地又は通学地」の都道府県・区市町村名の都道府県市区町村コードへの格付の可否

	合計	都道府県コード・市区町村コードともに格付可	市区町村コードのみ格付不可 〔都道府県コードは格付可〕	都道府県コード・市区町村コードともに格付不可
実数	7,597	5,193	1,063	1,341
構成比(%)	100.0	68.4	14.0	17.7

※ オンライン回収・聞き取り調査を除く

(7) 「勤め先・業主などの名称」欄・「事業の内容」欄・「仕事の内容」欄に記入があったものについて、産業分類及び職業分類の格付状況をみると、産業分類及び職業分類ともに、全体の約97%が小分類まで格付可能となっている。

表17 産業分類・職業分類の格付の可否

		合計	小分類まで格付可 〔大分類も格付可能〕	小分類のみ格付不可 〔大分類は格付可能〕	大分類・小分類格付不可
実数	産業分類	14,645	14,180	23	442
	職業分類	14,645	14,198	13	434
構成比 (%)	産業分類	100.0	96.8	0.2	3.0
	職業分類	100.0	96.9	0.1	3.0

オンライン回収・聞き取り調査を除く

(8) 平成27年国勢調査第1次試験調査では、産業大分類・職業大分類の自動格付（機械による格付）を行い、その結果を目視格付（人手による格付）の結果と比較した。

「勤め先・業主などの名称」欄・「事業の内容」欄・「仕事の内容」欄に記入があったものについて、自動格付の状況をみると、産業大分類では、自動格付可の割合は23.1%となっており、このうち自動格付と目視格付との結果が一致した割合は98.6%となっている。

また、職業大分類では、自動格付可の割合は26.6%となっており、このうち自動格付と目視格付との結果が一致した割合は98.3%となっている。

表18 自動格付・目視格付の別 産業大分類格付の可否

		目視格付			
			格付可	格付不可	
実数	自動格付	格付可	14,645	14,203	442
		うち自動格付・目視格付結果一致	3,389	3,389	0
		格付不可	11,256	10,814	442
		格付不可	11,256	10,814	442
構成比 (%)	自動格付	格付可	100.0	97.0	3.0
		うち自動格付・目視格付結果一致	23.1	23.1	0.0
		格付不可	76.9	73.8	3.0
		格付不可	76.9	73.8	3.0

※ オンライン回収・聞き取り調査を除く

表19 自動格付・目視格付の別 職業大分類格付の可否

		目視格付			
			格付可	格付不可	
実数	自動格付	格付可	14,645	14,211	434
		うち自動格付・目視格付結果一致	3,892	3,889	3
		格付不可	10,753	10,322	431
		格付不可	10,753	10,322	431
構成比 (%)	自動格付	格付可	100.0	97.0	3.0
		うち自動格付・目視格付結果一致	26.6	26.6	0.0
		格付不可	73.4	70.5	2.9
		格付不可	73.4	70.5	2.9

※ オンライン回収・聞き取り調査を除く

3 世帯項目の記入状況

平成 27 年国勢調査第 1 次試験調査では、外見からでも判断しやすい調査項目である「住宅の建て方」及び「共同住宅の場合の階数」を自計（世帯記入）項目から他計（調査員記入）項目に変更しているが、記入不備の割合は 5 % 程度となっている。

表20 自計他計の別 調査項目の不備の割合

		合計		
		記入漏れ	ダブルマーク	
自計(世帯記入)項目	住居の種類	3.6	3.5	0.1
他計(調査員記入)項目	世帯の種類	7.6	7.6	0.0
	住宅の建て方	4.6	4.6	0.0
	共同住宅の場合の階数	5.1	5.1	0.0

※ オンライン回収・聞き取り調査 を除く

第4 オンライン回収における回答状況

1 調査項目別の回答状況

任意記入事項の「電話番号」を除き、記入不備（記入漏れ及びダブルマーク）は全くなかった。

表 23 個人調査事項（世帯員数 7,959）

	氏名	男女の別	世帯主との 続柄	出生の年 月（元 号・西暦）	出生の年 月（年）	出生の年 月（月）	配偶者の 有無	国籍区分	国名
回答数	7,959	7,959	7,959	7,959	7,959	7,959	7,959	7,959	62
不詳数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回答率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

	現在の場 所に住ん でいる期 間	5年前の 居住地	5年前の 居住地 （都道府 県）	5年前の 居住地 （市町 村）	5年前の 居住地 （区）	1週間の 仕事	従業地又 は通学地	従業地又 は通学地 （都道府 県）	従業地又 は通学地 （市町 村）
回答数	7,959	2,292	1,214	1,214	365	7,959	5,665	2,033	2,033
不詳数	0	0	0	0	—	0	0	0	0
回答率	100%	100%	100%	100%	—	100%	100%	100%	100%

	従業地又 は通学地 （区）	勤めか自 営かの別	勤め先・業 主などの 名称	事業の内 容	本人の仕 事の内容
回答数	769	4,246	4,246	4,246	4,246
不詳数	—	0	0	0	0
回答率	—	100%	100%	100%	100%

表 24 世帯調査事項（世帯数 3,036）

	世帯の種 類	世帯員数 （総数）	世帯員数 （男）	世帯員数 （女）	住居の種 類	住宅の建 て方	建物全体 の階数	住んでい る住宅の ある階	電話番号
回答数	3,036	3,036	3,036	3,036	3,036	2,985	1,830	1,830	2,972
不詳数	0	0	0	0	0	0	0	0	64
回答率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	98%

2 オンライン回収における都道府県コード・市区町村コードの格付状況

「5年前の住居の所在地」欄からの都道府県コード・市区町村コードへの格付は、ほぼ100%（99.9%）可能となっている。

また、「従業地又は通学地」欄からの都道府県コード・市区町村コードへの格付は、全て（100%）可能であった。

表25 オンライン回収における「5年前の住居の所在地」の都道府県・区市町村名の都道府県市区町村コードへの格付の可否

	合計	都道府県コード・ 市区町村コード ともに 格付可	市区町村コードのみ 格付不可 〔都道府県コードは 格付可〕	都道府県コード・ 市区町村コード ともに 格付不可
実数	7,927	7,921	6	0
構成比(%)	100.0	99.9	0.1	0.0

表26 オンライン回収における「従業地又は通学地」の都道府県・区市町村名の都道府県市区町村コードへの格付の可否

	合計	都道府県コード・ 市区町村コード ともに 格付可	市区町村コードのみ 格付不可 〔都道府県コードは 格付可〕	都道府県コード・ 市区町村コード ともに 格付不可
実数	5,665	5,665	0	0
構成比(%)	100.0	100.0	0.0	0.0

3 オンライン回収における産業分類・職業分類の格付状況

「勤め先・業主などの名称」欄・「事業の内容」欄・「仕事の内容」欄からの産業分類・職業分類への格付は、産業分類及び職業分類ともに、ほぼ100%、小分類までの格付が可能となっている。

表27 オンライン回収における 産業分類・職業分類の格付の可否

		合計	小分類まで 格付可 〔大分類も 格付可能〕	小分類のみ 格付不可 〔大分類は 格付可能〕	大分類・小分類 格付不可
実数	産業分類	4,246	4,204	10	32
	職業分類	4,246	4,208	10	28
構成比 (%)	産業分類	100.0	99.0	0.2	0.8
	職業分類	100.0	99.1	0.2	0.7

4 オンライン回収における産業大分類・職業大分類の自動格付状況

産業大分類・職業大分類の自動格付（機械による格付）の結果を目視格付（人手による格付）の結果と比較した。

産業大分類では、自動格付可の割合は68.3%となっており、このうち自動格付と目視格付との結果が一致した割合は97.5%となっている。

職業大分類では、自動格付可の割合は68.9%となっており、このうち自動格付と目視格付との結果が一致した割合は96.9%となっている。

表28 オンライン回収における 自動格付・目視格付の別 産業大分類格付の可否

		目視格付			
			格付可	格付不可	
実数	自動 格付	格付可	4,246	4,214	32
		うち自動格付・目視格付 結果一致	2,900	2,899	1
		格付不可	1,346	1,315	31
				2,827	-
構成比 (%)	自動 格付	格付可	100.0	99.2	0.8
		うち自動格付・目視格付 結果一致	68.3	68.3	0.0
		格付不可	31.7	31.0	0.7
				〔自動格付 格付可のうち 97.5%〕	

表29 オンライン回収における 自動格付・目視格付の別 職業大分類格付の可否

		目視格付			
			格付可	格付不可	
実数	自動 格付	格付可	4,246	4,218	28
		うち自動格付・目視格付 結果一致	2,925	2,924	1
		格付不可	1,321	1,294	27
				2,835	-
構成比 (%)	自動 格付	格付可	100.0	99.3	0.7
		うち自動格付・目視格付 結果一致	68.9	68.9	0.0
		格付不可	31.1	30.5	0.6
				〔自動格付 格付可のうち 96.9%〕	

Ⅲ 世帯アンケートの集計結果

第1 インターネットで回答しなかった世帯

紙媒体での世帯アンケートは、インターネットで回答しなかった 15,687 世帯に依頼しており、このうち 6,546 世帯から回答（回収率 41.7%）があった。

1 回答者について

男女別にみると、男性が 40.1%、女性が 58.6%となっている。

また、年齢階級別の構成比をみると、年齢階級が高くなるほど高くなっている。

表30 年齢、男女別回答者

	実数				割合(%)			
	総数	男	女	無記入・不詳	総数	男	女	無記入・不詳
総数	6,546	2,623	3,836	87	100.0	40.1	58.6	1.3
20歳未満	49	22	27	0	0.7	0.3	0.4	0.0
20歳代	381	129	252	0	5.8	2.0	3.8	0.0
30歳代	822	254	568	0	12.6	3.9	8.7	0.0
40歳代	1,114	333	781	0	17.0	5.1	11.9	0.0
50歳代	1,223	510	713	0	18.7	7.8	10.9	0.0
60歳代	1,434	691	739	4	21.9	10.6	11.3	0.1
70歳以上	1,446	681	750	15	22.1	10.4	11.5	0.2
無記入・不詳	77	3	6	68	1.2	0.0	0.1	1.0

2 調査票について

(1) 調査票の記入はしやすかったですか

調査票甲、乙ともに「記入しやすかった」と回答した人が約6割となっており、約1割の人は「記入しにくかった」と回答している。

表31 男女・年齢・世帯人員・住居形態、調査票の種類・「調査票について」別回答者の割合(%)

	調査票甲					調査票乙				
	総数 (実数)	記入し やす かった	記入し にくか った	どちらと もいえ ない	無記 入・不 詳	総数 (実数)	記入し やす かった	記入し にくか った	どちらと もいえ ない	無記 入・不 詳
総数	3,388	64.7	11.2	21.3	2.8	3,153	63.0	11.7	21.7	3.7
男女 の別										
男	1,372	65.1	12.5	20.3	2.1	1,249	63.2	12.4	20.8	3.6
女	1,966	65.1	10.0	22.0	2.9	1,867	63.1	11.0	22.4	3.4
無記入・不詳	50	38.0	24.0	22.0	16.0	37	48.6	18.9	10.8	21.6
年齢 階級										
20歳未満	18	61.1	22.2	16.7	0.0	31	54.8	16.1	29.0	0.0
20歳代	191	60.2	10.5	28.3	1.0	190	63.2	11.6	24.7	0.5
30歳代	465	64.3	7.7	27.3	0.6	357	60.5	7.0	31.7	0.8
40歳代	582	66.3	8.1	24.9	0.7	531	65.3	8.1	25.0	1.5
50歳代	615	63.7	9.4	24.1	2.8	608	63.3	10.5	24.3	1.8
60歳代	737	65.4	12.3	18.5	3.8	695	64.9	10.9	19.7	4.5
70歳以上	732	66.8	15.3	13.7	4.2	712	61.2	18.0	13.1	7.7
無記入・不詳	48	37.5	22.9	20.8	18.8	29	48.3	17.2	10.3	24.1
世帯 員の 数										
1人	1,004	64.8	13.1	18.5	3.5	945	62.0	12.0	22.2	3.8
2人	1,039	68.0	9.9	19.2	2.8	982	65.0	12.4	18.6	4.0
3人以上	1,296	62.6	10.4	25.3	1.7	1,195	62.5	10.8	23.8	2.8
無記入・不詳	49	46.9	18.4	18.4	16.3	31	48.4	12.9	16.1	22.6
住居 形態										
農林漁家	101	53.5	16.8	26.7	3.0	72	58.3	8.3	25.0	8.3
商店	26	61.5	3.8	30.8	3.8	25	72.0	8.0	12.0	8.0
一戸建住宅	1,320	65.6	12.7	18.9	2.8	1,332	63.0	12.6	20.1	4.3
オートロックマンション	876	69.2	8.4	20.7	1.7	738	68.0	9.1	21.4	1.5
アパート・マンション (オートロック以外)	903	62.9	9.6	25.0	2.4	822	60.9	10.8	25.2	3.0
その他	92	60.9	13.0	19.6	6.5	103	55.3	24.3	16.5	3.9
無記入・不詳	70	37.1	28.6	20.0	14.3	61	44.3	18.0	19.7	18.0

(2) 調査票が記入しにくかった理由

調査票が「記入しにくかった」と回答した人について、その理由をみると、調査票甲、乙ともに、約3割の人が「説明部分の文字が小さい」と回答している。また、「回答部分の文字が小さい」（調査票甲 26.4%、調査票乙 27.2%）、「数字の記入枠が小さい」（調査票甲 14.5%、調査票乙 17.4%）を、記入しにくかった理由として挙げている人も多い。

表32 男女・年齢・世帯人員・住居形態、調査票の種類・「調査票について」記入しにくかった理由別回答者の割合(%) (複数回答)

	調査票甲									
	記入しにくかった(実数)	説明部分の文字が小さい	回答部分の文字が小さい	数字の記入枠が小さい	数字を書き始める最初の枠がわかりにくい	マークが記入しにくい	調査票の印刷の色がうすい	その他	無記入・不詳	
総数	379	33.8	26.4	14.5	15.6	19.0	7.4	35.1	3.4	
男女の別										
男	171	35.1	29.2	17.0	17.5	20.5	7.6	34.5	1.8	
女	196	30.6	22.4	12.8	14.3	17.9	6.1	36.7	4.6	
無記入・不詳	12	66.7	50.0	8.3	8.3	16.7	25.0	16.7	8.3	
年齢階級										
20歳未満	4	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
20歳代	20	15.0	10.0	5.0	20.0	15.0	0.0	45.0	5.0	
30歳代	36	11.1	13.9	2.8	8.3	16.7	0.0	63.9	0.0	
40歳代	47	29.8	21.3	12.8	21.3	19.1	8.5	36.2	2.1	
50歳代	58	29.3	13.8	8.6	13.8	15.5	8.6	34.5	10.3	
60歳代	91	36.3	36.3	19.8	13.2	20.9	9.9	30.8	2.2	
70歳以上	112	42.9	31.3	20.5	17.9	19.6	6.3	30.4	1.8	
無記入・不詳	11	63.6	54.5	9.1	9.1	18.2	27.3	18.2	9.1	
世帯員の数										
1人	132	32.6	22.7	15.2	14.4	15.9	8.3	45.5	2.3	
2人	103	37.9	30.1	20.4	10.7	22.3	4.9	26.2	1.9	
3人以上	135	29.6	25.9	9.6	20.7	19.3	6.7	32.6	5.2	
無記入・不詳	9	66.7	44.4	11.1	11.1	22.2	33.3	22.2	11.1	
住居形態										
農林漁家	17	35.3	23.5	35.3	11.8	23.5	23.5	35.3	5.9	
商店	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
一戸建住宅	168	37.5	29.8	15.5	14.9	19.0	4.8	28.0	1.8	
オートロックマンション	74	25.7	20.3	12.2	13.5	20.3	9.5	43.2	0.0	
アパート・マンション(オートロック以外)	87	31.0	23.0	11.5	18.4	17.2	4.6	39.1	5.7	
その他	12	25.0	33.3	16.7	25.0	33.3	8.3	58.3	8.3	
無記入・不詳	20	50.0	35.0	10.0	15.0	10.0	20.0	30.0	15.0	

	調査票乙									
	記入しにくかった(実数)	説明部分の文字が小さい	回答部分の文字が小さい	数字の記入枠が小さい	数字を書き始める最初の枠がわかりにくい	マークが記入しにくい	調査票の印刷の色がうすい	その他	無記入・不詳	
総数	368	31.3	27.2	17.4	16.6	20.9	8.7	37.8	3.3	
男女の別										
男	155	32.3	25.2	18.7	20.6	21.9	7.1	36.8	1.9	
女	206	31.1	28.2	16.5	14.1	19.9	10.2	38.8	4.4	
無記入・不詳	7	14.3	42.9	14.3	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0	
年齢階級										
20歳未満	5	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	
20歳代	22	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	0.0	45.5	4.5	
30歳代	25	24.0	8.0	4.0	16.0	24.0	8.0	52.0	0.0	
40歳代	43	18.6	14.0	2.3	14.0	27.9	7.0	44.2	7.0	
50歳代	64	29.7	20.3	20.3	12.5	15.6	9.4	45.3	3.1	
60歳代	76	40.8	34.2	21.1	17.1	17.1	9.2	25.0	2.6	
70歳以上	128	36.7	35.9	24.2	21.1	22.7	10.9	35.9	3.1	
無記入・不詳	5	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	
世帯員の数										
1人	113	30.1	26.5	16.8	15.0	23.9	11.5	36.3	3.5	
2人	122	38.5	37.7	23.8	19.7	17.2	8.2	32.8	4.1	
3人以上	129	26.4	17.8	12.4	15.5	21.7	7.0	43.4	2.3	
無記入・不詳	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	
住居形態										
農林漁家	6	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	
商店	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一戸建住宅	168	35.7	27.4	19.6	16.7	20.8	9.5	39.9	2.4	
オートロックマンション	67	22.4	28.4	13.4	11.9	19.4	7.5	35.8	7.5	
アパート・マンション(オートロック以外)	89	22.5	22.5	13.5	15.7	23.6	6.7	33.7	2.2	
その他	25	48.0	32.0	32.0	28.0	20.0	16.0	44.0	4.0	
無記入・不詳	11	36.4	45.5	18.2	9.1	27.3	9.1	36.4	0.0	

【記入しにくかった理由の「その他」の具体的な内容】

- ・世帯員記入欄が世帯員ごとに縦方向に区分されているのがわからなかった。
- ・年をとると、手がふるえたりするので、マーク部分もう少し大きい方がぬりつぶしやすい。
- ・紙に地色があると老眼の人には、見えにくくなる。
- ・高齢者には赤・青・黄・水色等の文字はとても読みにくい。
- ・「7 5年前にはどこに住んでいましたか」欄、「9 従業地又は通学地」欄の説明文が分かりづらい。区に関してのみのことかそれに対して町しかない市はどうするのか。
- ・職業記入欄に何を書いていいか分かりにくかった。
- ・仕事の内容の例が少なく、答えにくい。管理的・経営的立場の例がない。
- ・職業記入欄について多様な仕事をしている場合の例がない。

3 調査員について

(1) あなたの世帯を訪問した調査員は、顔見知りの人でしたか。

調査員が「顔見知りの人だった」と回答した人は 21.4%、「顔見知りでない人だった」と回答した人は 55.2%、「顔見知りかわからない・会っていない」と回答した人は 23.4%となっている。

(2) 調査票の提出方法が封入提出や郵送提出による場合、調査員は、顔見知りの人とそうでない人と、どちらがよいですか。

調査員が顔見知りの人だった場合は「顔見知りの方がよい」と回答した人の割合 (52.7%) が最も高くなっているが、調査員が顔見知りでない人だった場合及び調査員は顔見知りかわからない・会っていない場合は「どちらでもよい」と回答した人の割合 (62.3%、70.4%) が最も高くなっている。

表33 男女・年齢・世帯人員・住居形態、「調査員について」顔見知りの方がよい理由又は顔見知りでない人がよい理由別回答者数（理由は、複数回答）

	顔見知りの人だった(実数)	顔見知りの方がよい						顔見知りでない人がよい						どちらでもよい	無記入・不詳
		顔見知りの人の方がよい	知っている人なので、安心だから	記入の方法などを気軽に質問できるから	わからないことがあったときなど、連絡がとりやすいから	その他	無記入・不詳	顔見知りでない人がよい	家庭内のことを知られるような心配がないから	記入の方法などを気軽に質問できるから	その他	無記入・不詳			
総数	1,365	52.7	38.5	18.5	14.9	0.8	4.8	4.6	3.2	0.9	0.8	0.4	37.9	4.8	
男女の別															
男	544	52.9	35.8	16.2	15.8	0.6	5.1	2.8	2.0	0.7	0.2	0.0	39.5	4.8	
女	807	52.5	40.1	20.2	14.1	1.0	4.6	5.8	4.1	1.0	1.2	0.6	37.1	4.6	
無記入・不詳	14	57.1	42.9	14.3	21.4	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	21.4	14.3	
年齢階級															
20歳未満	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
20歳代	12	75.0	58.3	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	
30歳代	95	53.7	38.9	14.7	12.6	1.1	7.4	6.3	4.2	1.1	3.2	0.0	36.8	3.2	
40歳代	236	44.1	36.0	10.6	8.5	0.0	5.1	5.5	4.2	0.8	0.4	0.8	49.2	1.3	
50歳代	262	48.1	37.8	16.4	15.3	0.0	4.2	5.3	3.8	1.5	1.1	0.4	43.9	2.7	
60歳代	355	51.5	35.8	18.0	18.0	1.4	3.7	4.8	3.4	0.6	0.8	0.6	40.0	3.7	
70歳以上	391	61.6	42.5	27.1	16.4	1.3	5.1	2.8	1.8	0.8	0.3	0.0	26.3	9.2	
無記入・不詳	13	46.2	30.8	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	23.1	15.4	
世帯員の数															
1人	227	64.3	42.3	25.6	13.7	1.3	8.8	2.2	2.2	0.9	0.4	0.0	25.1	8.4	
2人	459	51.2	37.3	19.4	16.8	0.9	3.1	4.4	2.6	0.9	0.4	0.4	38.6	5.9	
3人以上	664	50.2	38.3	15.8	14.0	0.6	4.7	5.6	4.1	0.9	1.2	0.5	41.7	2.6	
無記入・不詳	15	40.0	26.7	6.7	13.3	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	40.0	13.3	
住居形態															
農林漁家	98	54.1	30.6	24.5	15.3	0.0	5.1	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	33.7	9.2	
商店	24	70.8	54.2	33.3	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2	0.0	
一戸建住宅	871	54.5	40.8	19.9	15.5	1.0	4.2	4.2	2.8	1.0	0.8	0.5	36.9	4.4	
オートロックマンション	184	40.8	30.4	11.4	10.9	0.0	5.4	6.5	4.9	0.0	1.6	0.5	49.5	3.3	
アパート・マンション(オートロック以外)	109	50.5	35.8	8.3	7.3	0.0	9.2	6.4	6.4	1.8	0.0	0.0	39.4	3.7	
その他	43	55.8	39.5	18.6	20.9	2.3	7.0	4.7	0.0	2.3	2.3	0.0	32.6	7.0	
無記入・不詳	36	58.3	41.7	27.8	30.6	2.8	2.8	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	22.2	13.9	

	顔見知りでない人だった(実数)	顔見知りの方がよい						顔見知りでない人がよい						どちらでもよい	無記入・不詳
		顔見知りの方がよい	知っている人なので、安心だから	記入の方法などを気軽に質問できるから	わからないことがあったときなど、連絡がとりやすいから	その他	無記入・不詳	顔見知りでない人がよい	家庭内のことを知られるような心配がないから	記入の方法などを気軽に質問できるから	その他	無記入・不詳			
総数	3,512	9.5	6.6	3.2	2.8	0.5	0.5	23.8	15.7	7.0	1.9	1.7	62.3	4.4	
男女の別															
男	1,311	10.5	6.6	3.7	3.1	0.2	0.5	18.5	11.1	6.9	0.9	1.1	65.7	5.3	
女	2,162	8.9	6.8	3.0	2.6	0.6	0.4	27.1	18.7	7.2	2.5	1.9	60.3	3.7	
無記入・不詳	39	7.7	0.0	2.6	2.6	0.0	2.6	17.9	7.7	2.6	2.6	5.1	61.5	12.8	
年齢階級															
20歳未満	34	17.6	11.8	8.8	0.0	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	70.6	0.0	
20歳代	190	7.9	6.8	1.6	1.6	0.0	0.0	18.9	14.2	6.8	1.1	0.5	70.5	2.6	
30歳代	470	8.7	7.2	2.3	2.1	0.6	0.4	25.7	20.4	4.3	1.9	1.7	63.6	1.9	
40歳代	553	8.1	6.5	2.2	1.6	0.2	0.4	24.8	18.6	4.7	1.1	2.2	64.0	3.1	
50歳代	645	8.2	5.7	1.9	2.2	0.8	0.3	22.2	15.3	5.9	2.3	1.9	67.1	2.5	
60歳代	785	8.9	5.9	2.8	3.1	0.3	0.5	27.1	16.9	9.7	2.3	1.5	60.0	3.9	
70歳以上	806	12.5	7.8	6.1	4.5	0.6	0.6	21.6	10.9	8.7	1.9	1.5	56.7	9.2	
無記入・不詳	29	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	27.6	13.8	6.9	3.4	3.4	55.2	6.9	
世帯員の数															
1人	976	9.6	6.9	3.7	2.4	0.6	0.4	23.0	15.3	7.3	1.4	1.4	61.1	6.4	
2人	1,146	8.7	5.8	3.1	2.6	0.3	0.5	24.3	14.9	8.3	2.7	1.6	63.0	4.0	
3人以上	1,361	10.1	7.3	2.9	3.2	0.5	0.4	24.2	16.8	5.9	1.5	1.8	62.6	3.2	
無記入・不詳	29	10.3	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	17.2	10.3	3.4	0.0	3.4	62.1	10.3	
住居形態															
農林漁家	52	19.2	9.6	7.7	3.8	1.9	1.9	17.3	5.8	7.7	1.9	1.9	57.7	5.8	
商店	22	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	68.2	4.5	
一戸建住宅	1,364	12.6	8.5	4.5	4.6	0.4	0.7	22.1	14.1	7.2	1.5	1.8	60.6	4.6	
オートロックマンション	940	5.7	4.3	1.7	1.6	0.5	0.2	26.3	18.7	6.1	1.8	1.7	64.0	3.9	
アパート・マンション(オートロック以外)	988	7.9	6.0	2.5	1.3	0.4	0.3	24.7	16.5	7.8	2.4	1.4	63.5	3.9	
その他	95	11.6	8.4	3.2	2.1	1.1	0.0	24.2	12.6	8.4	3.2	2.1	58.9	5.3	
無記入・不詳	51	9.8	2.0	3.9	3.9	0.0	2.0	17.6	9.8	3.9	2.0	2.0	60.8	11.8	

表33の続きは次ページ

	わからない い・会って いない (実数)	顔見知り の人がよい					顔見知り でない人がよい			どちらでも よい			無記入・ 不詳	
		顔見知り の人がよい	知っている 人なので、 安心だから	記入の方 法などを気 軽に質問 できるから	わからない ことがあつ たときなど、 連絡が とりやすい から	その他	無記入・不 詳	顔見知り でない人がよ い	家庭内の ことを知ら れるような 心配がな いから	記入の方 法などを気 軽に質問 できるから	その他	無記入・不 詳		
総数	1,488	7.4	5.4	2.4	2.0	0.7	0.4	15.7	11.4	3.3	1.0	1.0	70.4	6.5
性別														
男	694	7.5	5.0	2.6	2.4	0.6	0.4	10.5	7.2	2.4	0.4	0.7	75.2	6.8
女	775	7.2	5.8	2.2	1.5	0.8	0.3	20.0	15.1	4.1	1.3	1.3	66.8	5.9
無記入・不詳	19	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	26.3	15.8	0.0	10.5	0.0	42.1	21.1
年齢階級														
20歳未満	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20歳代	177	8.5	6.8	1.1	3.4	0.0	0.6	9.6	6.2	2.3	0.0	1.1	80.2	1.7
30歳代	253	6.3	4.7	2.4	1.2	2.0	0.0	16.6	11.1	4.3	0.4	1.2	73.1	4.0
40歳代	315	5.7	4.8	0.6	1.3	0.3	0.6	19.7	14.6	4.4	1.6	1.6	69.8	4.8
50歳代	293	5.1	4.1	2.4	1.4	0.3	0.0	16.4	13.0	3.8	0.0	0.7	72.4	6.1
60歳代	240	7.5	5.4	2.1	0.8	0.4	0.8	16.3	12.9	2.9	1.3	0.8	67.1	9.2
70歳以上	178	14.0	9.0	6.7	5.6	1.1	0.0	11.2	7.3	1.1	2.2	0.6	59.6	15.2
無記入・不詳	18	16.7	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	27.8	16.7	0.0	11.1	0.0	44.4	11.1
世帯員の数														
1人	687	5.8	4.9	2.6	2.0	0.1	0.1	14.4	10.6	3.2	0.4	1.2	73.5	6.3
2人	356	9.3	5.6	2.2	2.0	0.8	0.6	16.0	10.4	3.9	2.5	0.6	67.1	7.6
3人以上	424	8.3	6.1	2.1	1.9	1.4	0.5	17.0	13.2	3.1	0.5	1.2	68.9	5.9
無記入・不詳	21	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	23.8	19.0	0.0	4.8	0.0	57.1	9.5
住居形態														
農林漁家	16	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	56.3	18.8
商店	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
一戸建住宅	345	10.7	7.2	3.5	2.3	0.9	0.6	13.9	9.3	2.6	1.2	1.2	65.5	9.9
オートロックマンション	464	5.8	4.7	1.5	1.5	0.6	0.2	17.9	12.9	5.2	0.9	0.9	71.8	4.5
アパート・マンション (オートロック以外)	585	5.3	3.9	1.7	2.1	0.5	0.3	16.1	12.5	2.7	0.9	1.0	73.7	5.0
その他	52	15.4	13.5	9.6	1.9	1.9	0.0	3.8	1.9	0.0	0.0	1.9	69.2	11.5
無記入・不詳	24	16.7	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	20.8	12.5	0.0	8.3	0.0	45.8	16.7

4 調査票の提出方法について

(1) 調査票を調査員に提出した理由

調査票を調査員に提出した人について、その理由をみると、「封筒に入れ、調査員に提出した」と回答した人では「調査員に提出するものだったから」の割合（43.1%）が最も高くなっており、「封筒に入れないで、そのまま調査員に提出した」と回答した人では「調査員に記入内容を確認してほしかったから」の割合（41.3%）が最も高くなっている。

表34 男女・年齢・世帯人員・住居形態、調査員に提出した理由別回答者の割合(%)

	封筒に入れ、調査員に提出した理由別回答者の割合(%)						封筒に入れないで、そのまま調査員に提出した理由別回答者の割合(%)					
	封筒に入れ、調査員に提出した(実数)	調査員に提出するものだったから	調査員に記入内容を確認してほしかったから	郵便ポストに投函するのがめんどろだったから	その他	無記入・不詳	封筒に入れないで、そのまま調査員に提出した(実数)	調査員に提出するものだったから	調査員に記入内容を確認してほしかったから	郵便ポストに投函するのがめんどろだったから	その他	無記入・不詳
総数	1,374	43.1	8.2	14.0	22.5	12.3	167	21.0	41.3	9.0	9.6	19.2
男女の別												
男	545	44.0	9.5	13.8	19.6	13.0	72	25.0	38.9	11.1	8.3	16.7
女	811	42.4	7.4	14.2	24.4	11.6	94	18.1	43.6	7.4	10.6	20.2
無記入・不詳	18	44.4	0.0	11.1	22.2	22.2	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢階級												
20歳未満	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20歳代	35	48.6	0.0	17.1	28.6	5.7	6	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
30歳代	121	33.1	4.1	16.5	34.7	11.6	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
40歳代	206	46.1	2.4	12.1	29.1	10.2	12	8.3	33.3	16.7	25.0	16.7
50歳代	267	47.9	4.1	14.2	19.1	14.6	14	50.0	14.3	7.1	14.3	14.3
60歳代	348	42.8	8.6	15.8	21.6	11.2	34	29.4	44.1	8.8	5.9	11.8
70歳以上	381	40.9	16.0	11.8	17.8	13.4	93	14.0	50.5	7.5	6.5	21.5
無記入・不詳	13	46.2	0.0	7.7	23.1	23.1	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
世帯員の数												
1人	254	38.2	13.8	13.8	19.3	15.0	67	13.4	43.3	11.9	6.0	25.4
2人	465	41.3	10.3	13.1	21.9	13.3	57	28.1	36.8	8.8	10.5	15.8
3人以上	640	46.3	4.5	14.7	24.1	10.5	42	23.8	45.2	4.8	14.3	11.9
無記入・不詳	15	46.7	0.0	13.3	26.7	13.3	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
住居形態												
農林漁家	69	40.6	15.9	8.7	21.7	13.0	16	50.0	31.3	0.0	6.3	12.5
商店	22	59.1	9.1	13.6	13.6	4.5	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
一戸建住宅	731	47.2	9.4	13.5	17.9	11.9	94	17.0	46.8	9.6	9.6	17.0
オートロックマンション	261	34.5	3.1	17.6	31.8	13.0	10	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0
アパート・マンション(オートロック以外)	210	38.6	7.1	10.5	30.5	13.3	32	28.1	28.1	9.4	6.3	28.1
その他	46	41.3	4.3	26.1	19.6	8.7	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
無記入・不詳	35	45.7	14.3	11.4	11.4	17.1	6	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7

(2) どうしてインターネットで回答しなかったのですか。

先行方式では「インターネットの設備がないから」と回答した人の割合(41.4%)が最も高くなっているが、並行方式では「紙の調査票の方が回答しやすいから」と回答した人の割合(45.6%)が最も高くなっている。

また、先行方式では、60歳代及び70歳以上は、「インターネットの設備がないから」と回答した人と「インターネットの使い方がわからないから」と回答した人を合わせた割合が、約7割となっている。

表35 男女・年齢・世帯人員・住居形態、インターネットで回答しなかった理由別回答者の割合(%) (複数回答)

	先行方式 (実数)	インターネットで回答しなかった理由別回答者の割合(%)								
		インターネットの設備がないから	インターネットの使い方がわからないから	セキュリティが不安だから	途中までやってみたら、やめた	操作ガイドで推奨された利用環境になかった	紙の調査票の方が回答しやすいから	その他	無記入・不詳	
総数	2,952	41.4	11.4	5.9	4.1	0.7	30.5	13.0	4.4	
男女の別										
男	1,249	44.6	10.4	5.3	4.4	0.5	30.7	10.5	4.4	
女	1,670	39.2	12.3	6.4	3.7	0.9	30.5	14.7	4.1	
無記入・不詳	33	30.3	6.1	3.0	12.1	0.0	27.3	21.2	21.2	
年齢階級										
20歳未満	15	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7	46.7	20.0	0.0	
20歳代	172	34.3	2.9	4.1	1.7	1.2	33.7	25.0	1.7	
30歳代	347	25.1	3.5	6.6	3.2	1.2	39.2	25.9	2.3	
40歳代	458	28.4	8.1	11.4	2.8	0.2	32.3	22.3	2.6	
50歳代	606	37.5	11.9	8.1	2.6	0.8	33.5	10.2	2.8	
60歳代	690	50.6	15.7	4.5	4.6	0.3	28.0	6.8	4.8	
70歳以上	630	56.5	15.7	1.7	6.5	1.0	24.0	4.4	7.8	
無記入・不詳	34	35.3	8.8	2.9	8.8	0.0	14.7	23.5	23.5	
世帯員の数										
1人	969	52.0	6.7	4.3	4.7	0.9	25.0	12.6	4.7	
2人	852	45.2	13.5	4.8	3.9	0.7	31.6	8.5	4.2	
3人以上	1,096	29.3	14.1	8.1	3.5	0.5	34.9	16.6	3.6	
無記入・不詳	35	34.3	5.7	5.7	8.6	0.0	20.0	20.0	25.7	
住居形態										
農林漁家	95	36.8	18.9	8.4	3.2	0.0	31.6	5.3	8.4	
商店	23	52.2	13.0	4.3	0.0	0.0	17.4	4.3	13.0	
一戸建住宅	1,228	44.3	14.0	4.8	4.2	0.6	30.6	9.0	4.6	
オートロックマンション	646	29.7	11.5	8.0	4.2	1.2	35.1	18.6	1.7	
アパート・マンション(オートロック以外)	836	46.1	6.7	6.0	3.2	0.7	28.0	15.6	4.2	
その他	69	52.2	8.7	2.9	5.8	0.0	20.3	10.1	8.7	
無記入・不詳	55	32.7	14.5	3.6	12.7	0.0	29.1	16.4	20.0	

	並行方式 (実数)	インターネットで回答しなかった理由別回答者の割合(%)								
		インターネットの設備がないから	インターネットの使い方がわからないから	セキュリティが不安だから	途中までやってみたら、やめた	操作ガイドで推奨された利用環境になかった	紙の調査票の方が回答しやすいから	その他	無記入・不詳	
総数	3,496	27.8	9.6	7.4	2.6	0.2	45.6	12.5	4.7	
男女の別										
男	1,327	29.0	9.2	6.9	3.0	0.4	45.5	13.3	4.5	
女	2,130	26.8	9.9	7.8	2.3	0.1	46.2	11.9	4.5	
無記入・不詳	39	43.6	5.1	0.0	10.3	0.0	20.5	20.5	20.5	
年齢階級										
20歳未満	33	3.0	6.1	3.0	3.0	0.0	81.8	6.1	0.0	
20歳代	205	20.0	2.4	3.9	0.5	0.0	57.6	14.6	2.9	
30歳代	462	12.1	2.6	8.7	1.7	0.2	62.1	18.6	1.1	
40歳代	643	13.5	5.6	11.5	1.6	0.0	52.3	20.7	1.4	
50歳代	605	17.5	12.4	11.9	1.7	0.0	54.0	12.2	2.5	
60歳代	724	37.7	14.2	5.9	2.2	0.7	38.1	8.8	5.2	
70歳以上	794	49.5	12.7	2.6	5.7	0.1	27.5	5.4	10.7	
無記入・不詳	30	50.0	3.3	0.0	3.3	0.0	20.0	20.0	20.0	
世帯員の数										
1人	962	38.0	6.8	5.1	3.0	0.2	41.2	9.9	5.9	
2人	1,138	32.4	10.4	7.7	3.0	0.2	43.0	10.2	5.6	
3人以上	1,366	16.4	10.9	8.9	2.0	0.2	51.6	16.0	2.8	
無記入・不詳	30	43.3	10.0	0.0	3.3	0.0	16.7	26.7	16.7	
住居形態										
農林漁家	78	35.9	19.2	3.8	2.6	0.0	34.6	9.0	5.1	
商店	28	42.9	14.3	7.1	0.0	0.0	32.1	0.0	10.7	
一戸建住宅	1,382	34.3	12.4	6.7	2.8	0.3	41.5	9.3	5.4	
オートロックマンション	956	14.3	5.9	10.1	2.3	0.3	57.0	15.7	2.5	
アパート・マンション(オートロック以外)	870	27.1	7.5	6.8	2.5	0.0	44.9	15.1	4.5	
その他	122	51.6	9.8	3.3	2.5	0.0	28.7	9.8	6.6	
無記入・不詳	60	36.7	18.3	1.7	6.7	0.0	23.3	15.0	20.0	

(3) インターネット回答を途中までやってみたが、途中でやめた理由
「紙の調査票の方が、わかりやすかったから」と回答した人の割合(35.6%)
が最も高くなっている。

表36 男女・年齢・世帯人員・住居形態、インターネット回答を途中までやってみたが、やめた理由別回答者の割合(%)

	途中まで やってみ たが、やめ た (実数)	説明資料 や画面上 の説明が わかりにく かったから	操作の時 間がかかり すぎたから	エラーが 発生して、 先に進め なかった から	紙の調査 票の方 が、わかり やすかつ たから	その他	無記入・ 不詳
総数	216	16.7	6.5	10.6	35.6	22.7	7.9
男女 の 別							
男	97	24.7	10.3	7.2	29.9	22.7	5.2
女	110	9.1	3.6	13.6	41.8	20.9	10.9
無記入・不詳	9	22.2	0.0	11.1	22.2	44.4	0.0
年 齢 階 級							
20歳未満	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
20歳代	4	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
30歳代	20	25.0	5.0	25.0	15.0	15.0	15.0
40歳代	23	13.0	4.3	21.7	21.7	39.1	0.0
50歳代	26	19.2	19.2	19.2	15.4	15.4	11.5
60歳代	49	18.4	8.2	10.2	32.7	20.4	10.2
70歳以上	87	14.9	2.3	3.4	49.4	23.0	6.9
無記入・不詳	5	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
世 帯 員 の 数							
1人	75	24.0	4.0	8.0	41.3	14.7	8.0
2人	68	14.7	4.4	10.3	38.2	26.5	5.9
3人以上	67	11.9	10.4	14.9	26.9	25.4	10.4
無記入・不詳	6	0.0	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0
住 居 形 態							
農林漁家	5	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
商店	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一戸建住宅	91	14.3	3.3	12.1	37.4	23.1	9.9
オートロックマンション	50	20.0	10.0	10.0	24.0	28.0	8.0
アパート・マンション (オートロック以外)	51	17.6	7.8	13.7	39.2	13.7	7.8
その他	7	14.3	0.0	0.0	42.9	42.9	0.0
無記入・不詳	12	16.7	8.3	0.0	41.7	33.3	0.0

第2 インターネットで回答した世帯

インターネットによる世帯アンケートは、インターネットで回答した 3,036 世帯に依頼しており、このうち 2,532 世帯から回答（回収率 83.4%）があった。

1 回答者について

男女別にみると、男性が 56.6%、女性が 39.4%となっている。

また、年齢階級別にみると、40 歳代が 29.3%と最も高く、続いて、50 歳代（21.7%）、30 歳代（19.2%）となっている。

表37 年齢、男女別回答者

	実数				割合(%)			
	総数	男	女	無記入・不詳	総数	男	女	無記入・不詳
総数	2,532	1,432	1,008	92	100.0	56.6	39.8	3.6
20歳未満	45	17	26	2	1.8	0.7	1.0	0.1
20歳代	204	99	104	1	8.1	3.9	4.1	0.0
30歳代	487	243	239	5	19.2	9.6	9.4	0.2
40歳代	743	396	343	4	29.3	15.6	13.5	0.2
50歳代	550	347	197	6	21.7	13.7	7.8	0.2
60歳代	317	237	73	7	12.5	9.4	2.9	0.3
70歳以上	100	79	18	3	3.9	3.1	0.7	0.1
無記入・不詳	86	14	8	64	3.4	0.6	0.3	2.5

2 インターネットでの回答について

(1) 操作は簡単でしたか。

インターネットで回答した人の約9割が、操作は簡単でしたと答えている。

表38 男女・年齢別、「操作は簡単でしたか」の回答者

	実数				割合(%)			
	総数	はい	いいえ	どちらでもない	総数	はい	いいえ	どちらでもない
総数	2,532	2,215	97	220	100.0	87.5	3.8	8.7
20歳未満	45	33	5	7	100.0	73.3	11.1	15.6
20歳代	204	174	11	19	100.0	85.3	5.4	9.3
30歳代	487	442	11	34	100.0	90.8	2.3	7.0
40歳代	743	655	22	66	100.0	88.2	3.0	8.9
50歳代	550	485	18	47	100.0	88.2	3.3	8.5
60歳代	317	290	9	18	100.0	91.5	2.8	5.7
70歳以上	100	79	9	12	100.0	79.0	9.0	12.0
無記入・不詳	86	57	12	17	100.0	66.3	14.0	19.8
男	1,432	1,253	59	120	100.0	87.5	4.1	8.4
20歳未満	17	14	1	2	100.0	82.4	5.9	11.8
20歳代	99	83	6	10	100.0	83.8	6.1	10.1
30歳代	243	219	6	18	100.0	90.1	2.5	7.4
40歳代	396	346	16	34	100.0	87.4	4.0	8.6
50歳代	347	302	15	30	100.0	87.0	4.3	8.6
60歳代	237	216	7	14	100.0	91.1	3.0	5.9
70歳以上	79	62	6	11	100.0	78.5	7.6	13.9
無記入・不詳	14	11	2	1	100.0	78.6	14.3	7.1
女	1,008	897	27	84	100.0	89.0	2.7	8.3
20歳未満	26	17	4	5	100.0	65.4	15.4	19.2
20歳代	104	90	5	9	100.0	86.5	4.8	8.7
30歳代	239	219	5	15	100.0	91.6	2.1	6.3
40歳代	343	306	5	32	100.0	89.2	1.5	9.3
50歳代	197	178	3	16	100.0	90.4	1.5	8.1
60歳代	73	67	2	4	100.0	91.8	2.7	5.5
70歳以上	18	14	3	1	100.0	77.8	16.7	5.6
無記入・不詳	8	6	0	2	100.0	75.0	0.0	25.0
不詳	92	65	11	16	100.0	70.7	12.0	17.4
20歳未満	2	2	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
20歳代	1	1	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
30歳代	5	4	0	1	100.0	80.0	0.0	20.0
40歳代	4	3	1	0	100.0	75.0	25.0	0.0
50歳代	6	5	0	1	100.0	83.3	0.0	16.7
60歳代	7	7	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
70歳以上	3	3	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0
無記入・不詳	64	40	10	14	100.0	62.5	15.6	21.9

(2) 平成 27 年国勢調査もインターネットで回答したいですか。

インターネットで回答した人の約 9 割が、平成 27 年国勢調査もインターネットで回答したいと答えている。

表39 男女・年齢別、「平成27年国勢調査もインターネットで回答したいですか」の回答者

	実数			割合(%)		
	総数	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
総数	2,532	2,300	232	100.0	90.8	9.2
20歳未満	45	36	9	100.0	80.0	20.0
20歳代	204	176	28	100.0	86.3	13.7
30歳代	487	430	57	100.0	88.3	11.7
40歳代	743	689	54	100.0	92.7	7.3
50歳代	550	508	42	100.0	92.4	7.6
60歳代	317	299	18	100.0	94.3	5.7
70歳以上	100	93	7	100.0	93.0	7.0
無記入・不詳	86	69	17	100.0	80.2	19.8
男	1,432	1,302	130	100.0	90.9	9.1
20歳未満	17	15	2	100.0	88.2	11.8
20歳代	99	81	18	100.0	81.8	18.2
30歳代	243	213	30	100.0	87.7	12.3
40歳代	396	363	33	100.0	91.7	8.3
50歳代	347	320	27	100.0	92.2	7.8
60歳代	237	226	11	100.0	95.4	4.6
70歳以上	79	75	4	100.0	94.9	5.1
無記入・不詳	14	9	5	100.0	64.3	35.7
女	1,008	921	87	100.0	91.4	8.6
20歳未満	26	20	6	100.0	76.9	23.1
20歳代	104	94	10	100.0	90.4	9.6
30歳代	239	213	26	100.0	89.1	10.9
40歳代	343	322	21	100.0	93.9	6.1
50歳代	197	183	14	100.0	92.9	7.1
60歳代	73	66	7	100.0	90.4	9.6
70歳以上	18	15	3	100.0	83.3	16.7
無記入・不詳	8	8	0	100.0	100.0	0.0
不詳	92	77	15	100.0	83.7	16.3
20歳未満	2	1	1	100.0	50.0	50.0
20歳代	1	1	0	100.0	100.0	0.0
30歳代	5	4	1	100.0	80.0	20.0
40歳代	4	4	0	100.0	100.0	0.0
50歳代	6	5	1	100.0	83.3	16.7
60歳代	7	7	0	100.0	100.0	0.0
70歳以上	3	3	0	100.0	100.0	0.0
無記入・不詳	64	52	12	100.0	81.3	18.8

- (3) スマートフォンなどの携帯端末の専用画面があれば利用したいですか。
 30歳以下の年齢階級では、過半数が、スマートフォンなどの携帯端末の専用画面を利用したいと答えている。

表40 男女・年齢別、「スマートフォンなどの携帯端末の専用画面があれば利用したいですか」の回答者

	実数			割合(%)		
	総数	はい	いいえ	総数	はい	いいえ
総数	2,532	1,032	1,500	100.0	40.8	59.2
20歳未満	45	32	13	100.0	71.1	28.9
20歳代	204	137	67	100.0	67.2	32.8
30歳代	487	255	232	100.0	52.4	47.6
40歳代	743	315	428	100.0	42.4	57.6
50歳代	550	177	373	100.0	32.2	67.8
60歳代	317	59	258	100.0	18.6	81.4
70歳以上	100	23	77	100.0	23.0	77.0
無記入・不詳	86	34	52	100.0	39.5	60.5
男	1,432	578	854	100.0	40.4	59.6
20歳未満	17	11	6	100.0	64.7	35.3
20歳代	99	64	35	100.0	64.6	35.4
30歳代	243	125	118	100.0	51.4	48.6
40歳代	396	191	205	100.0	48.2	51.8
50歳代	347	116	231	100.0	33.4	66.6
60歳代	237	48	189	100.0	20.3	79.7
70歳以上	79	19	60	100.0	24.1	75.9
無記入・不詳	14	4	10	100.0	28.6	71.4
女	1,008	418	590	100.0	41.5	58.5
20歳未満	26	19	7	100.0	73.1	26.9
20歳代	104	73	31	100.0	70.2	29.8
30歳代	239	128	111	100.0	53.6	46.4
40歳代	343	122	221	100.0	35.6	64.4
50歳代	197	59	138	100.0	29.9	70.1
60歳代	73	10	63	100.0	13.7	86.3
70歳以上	18	4	14	100.0	22.2	77.8
無記入・不詳	8	3	5	100.0	37.5	62.5
不詳	92	36	56	100.0	39.1	60.9
20歳未満	2	2	0	100.0	100.0	0.0
20歳代	1	0	1	100.0	0.0	100.0
30歳代	5	2	3	100.0	40.0	60.0
40歳代	4	2	2	100.0	50.0	50.0
50歳代	6	2	4	100.0	33.3	66.7
60歳代	7	1	6	100.0	14.3	85.7
70歳以上	3	0	3	100.0	0.0	100.0
無記入・不詳	64	27	37	100.0	42.2	57.8

IV 記録表の取りまとめ結果

第1 調査員記録表

1 調査員の基本属性について

調査員は193人で、男女別にみると男性が66人（34.2%）、女性が127人（65.8%）となっている。

また、年齢階級別にみると、60歳代が最も多く69人（35.8%）、次いで50歳代が48人（24.9%）となっている。国勢調査経験回数別にみると、経験なしが95人（49.2%）、経験ありが98人（50.8%）となっており、経験ありの中では1回が最も多く68人（35.2%）となっている。

表41 調査員の基本属性

		実数	構成比(%)
総	数	193	100.0
性 別	男	66	34.2
	女	127	65.8
年 齢 階 級	20歳代	2	1.0
	30歳代	14	7.3
	40歳代	35	18.1
	50歳代	48	24.9
	60歳代	69	35.8
	70歳代以上	25	13.0
国 勢 調 査 員 経 験	国勢調査員の経験あり	98	50.8
	1回	68	35.2
	2回	22	11.4
	3回	2	1.0
	4回	3	1.6
	5回以上	3	1.6
	国勢調査の経験なし	95	49.2

2 担当地域について

(1) 担当地域の認知度

調査員の担当地域の地理的な認知度については、「よく知っていた」(48.4%)及び「多少知っていた」(34.4%)の割合が高くなっている。

表42 調査員の担当地域の認知度

	調査区数	構成比(%)				
		よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳	
総数	384	48.4	34.4	14.8	2.3	
地域特性	オートロックマンション地域	98	61.2	24.5	10.2	4.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	39.0	38.0	21.0	2.0
	一戸建の多い地域	92	42.4	41.3	14.1	2.2
	その他の共同住宅の多い地域	94	51.1	34.0	13.8	1.1

(2) 担当世帯の認知度

調査員の担当地域の世帯の認知度については、「ほとんど知らなかった」(51.0%)の割合が高くなっている。

表43 調査員の担当世帯の認知度

	調査区数	構成比(%)				
		よく知っていた	多少知っていた	ほとんど知らなかった	不詳	
総数	384	11.5	34.6	51.0	2.9	
地域特性	オートロックマンション地域	98	9.2	28.6	58.2	4.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	6.0	30.0	62.0	2.0
	一戸建の多い地域	92	19.6	42.4	35.9	2.2
	その他の共同住宅の多い地域	94	11.7	38.3	46.8	3.2

3 調査員事務打合せ会の運営方法における意見等

(調査員事務打合せ会の説明で、分かりにくかった、詳しく説明してほしいところ)

- ・ ID、確認コードが世帯ごとに異なること、誤配布を防ぐ方法など
- ・ 不在時にポストイングする際、『調査世帯一覧』の該当世帯にIDを記録すること
- ・ 世帯と面接することの必要性
- ・ ポスティングまでの最低訪問回数
- ・ 自宅での準備事務について
- ・ 老人ホームなどの施設の調査方法
- ・ 訪問時間帯の許容範囲
- ・ 聞き取り調査の方法等
- ・ 『調査区要図』の書き方(世帯番号の付け方、マンションの場合の書き方など)
- ・ 『調査世帯一覧』の「(6)備考」の「配・取」欄や「(7)提出状況」欄の記入方法

- ・ 調査票の記入の仕方
- ・ 試験調査の目的、対象地域に選定された理由
- ・ 地域の特性や、事務上の注意事項などの捕捉説明
- ・ オンライン回答画面や回答の流れについての説明
- ・ 調査員用のオンライン調査の解説資料があるとよい。
- ・ 調査の要点を説明した資料があるとよい。

4 世帯の居住確認の状況

調査員が、世帯の居住状況の確認が困難だった住宅・建物があった調査区の割合は、63.8%となっている。

これを地域特性別にみると、「単身者が居住する住宅が多い地域」(79.0%)の割合が高くなっている。

また、1調査区における居住確認が困難だった世帯数は、「1～5世帯」の割合が高くなっている。

表44 世帯の居住確認が困難だった住宅・建物の有無別状況

	調査区数	構成比 (%)						不詳	
		なかった	あった	世帯数 (%)					
				総数	1～5世帯	6～10世帯	11世帯以上		
総数	384	31.8	63.8	100.0	66.5	13.5	20.0	4.4	
地域特性	オートロックマンション地域	98	45.9	48.0	100.0	78.4	5.4	16.2	6.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	18.0	79.0	100.0	45.5	25.0	29.5	3.0
	一戸建の多い地域	92	38.0	54.3	100.0	93.3	2.2	4.4	7.6
	その他の共同住宅の多い地域	94	25.5	73.4	100.0	50.0	20.5	29.5	1.1

【居住確認が困難だった主な事例】

- ・ 何度訪問しても留守で会えない世帯
- ・ ポストがチラシなどであふれている住宅
- ・ 単身世帯が居住する住宅
- ・ 管理人不在のマンション、アパート
- ・ セカンドハウスや別荘、仕事場として使用している住宅
- ・ 庭の手入れがされていない、カーテンや雨戸が常時閉じている住宅
- ・ 介護施設に入所、病院に入院している世帯
- ・ 表札やポストの名前が非掲出の世帯
- ・ インターホンが鳴らない住宅

【居住確認のための主な対応方法】

- ・ 管理人に空室情報や居住状況を確認
- ・ カーテン・雨戸の開閉状態、洗濯物の有無、インターホンが作動するか、車の

有無など

- ・ 近隣から聴取

5 世帯人員確認時の世帯からの質問等の状況

調査員が、世帯主又は代表者の氏名と男女別世帯人員を世帯から聴取して、『調査世帯一覧』を作成することについて、世帯から質問等があった調査区の割合は27.1%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問等があった割合が最も高いのは、「その他の共同住宅の多い地域」(36.2%)となっている。

また、1調査区における世帯確認時の世帯からの質問等があった世帯数は、「1～5世帯」の割合が高くなっている。

表45 世帯人員確認時の世帯からの質問等の有無

	調査区数	構成比(%)						不詳	
		なかった	あった	質問のあった世帯数(%)					
				総数	1～5世帯	6～10世帯	11世帯以上		
総数	384	66.9	27.1	100.0	98.7	1.3	0.0	6.0	
地域特性	オートロックマンション地域	98	67.3	23.5	100.0	100.0	0.0	0.0	9.2
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	70.0	26.0	100.0	94.4	5.6	0.0	4.0
	一戸建の多い地域	92	68.5	22.8	100.0	100.0	0.0	0.0	8.7
	その他の共同住宅の多い地域	94	61.7	36.2	100.0	100.0	0.0	0.0	2.1
(別掲)									
先行方式	192	64.6	27.1	100.0	100.0	0.0	0.0	8.3	
並行方式	192	69.3	27.1	100.0	96.9	3.1	0.0	3.6	

【主な質問等】

- ・ 調査票に記入するのになぜ質問するのか。
- ・ 個人情報保護のため聴取には協力できない。
- ・ 防犯上の理由で答えたくない。
- ・ 同じ地域の調査員に話すのは抵抗がある。
- ・ 前回の調査では聞かれなかった。
- ・ 住所（住民票）と現住地が異なる場合や、入院している場合などは世帯人員に含めるか。

6 オンライン回答についての世帯からの質問等の状況

オンライン回答を、紙の調査票の配布に先立ち実施することについて、世帯から質問等があった調査区の割合は6.8%となっている。

これを地域特性別にみると、「その他の共同住宅の多い地域」(8.5%)、「オートロックマンション地域」(8.2%)の割合が高くなっており、1調査区における質問等があった世帯数は、「1～5世帯」の割合が高くなっている。

また、オンライン回答の操作方法や、ID・確認コードについて世帯から質問等があった調査区の割合は、9.6%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問等があった割合が最も高いのは、「その他の共同住宅の多い地域」(13.8%)となっており、1調査区における質問等があった世帯数は、「1～5世帯」の割合が高くなっている。

表46 オンライン回答についての世帯からの質問等の有無（先行方式）

	調査区数	構成比(%)						不詳	
		なかった	あった	質問のあった世帯数(%)					
				総数	1～5世帯	6～10世帯	11世帯以上		
総数	384	39.6	6.8	100.0	85.7	14.3	0.0	53.6	
地域特性	オートロックマンション地域	98	35.7	8.2	100.0	87.5	12.5	0.0	56.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	41.0	5.0	100.0	60.0	40.0	0.0	54.0
	一戸建の多い地域	92	40.2	5.4	100.0	100.0	0.0	0.0	54.3
	その他の共同住宅の多い地域	94	41.5	8.5	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0

表47 オンライン回答の操作方法やID・確認コードについての世帯からの質問等の有無

	調査区数	構成比(%)						不詳	
		なかった	あった	質問のあった世帯数(%)					
				総数	1～5世帯	6～10世帯	11世帯以上		
総数	384	86.7	9.6	100.0	73.0	2.7	0.0	3.6	
地域特性	オートロックマンション地域	98	84.7	10.2	100.0	100.0	0.0	0.0	5.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	88.0	7.0	100.0	100.0	0.0	0.0	5.0
	一戸建の多い地域	92	89.1	7.6	100.0	33.3	33.3	0.0	3.3
	その他の共同住宅の多い地域	94	85.1	13.8	100.0	50.0	0.0	0.0	1.1

【主な質問等】

- ・ 自宅にPCがないので、自宅外（ネットカフェなど）で回答してもよいか。
- ・ 携帯端末で回答できるか。
- ・ 自宅と一緒に操作してほしい。
- ・ 高齢者は「インターネット」と聞いただけで「できない」という返事が多い。
- ・ PCを所有していない、インターネットの知識がまったくない人も多い。
- ・ 自宅にPCがないので、「調査票を今渡してほしい」と言われた。（先行方式）
- ・ 回答できなかった。操作の途中で分からなくなり止めた。
- ・ 回答後、『調査についてのお知らせ』を破棄してよいか。（先行方式）
- ・ ウィルス感染などセキュリティに問題はないか。
- ・ 2世帯同居の場合、同じPCから回答できるか。
- ・ ID、確認コードは世帯ごとに異なるのか。

- ・ 配布されたアドレスは、市と総務省どちらに繋がるのか。
- ・ もっと簡単にアクセスできるようにしてほしい。
- ・ 自分（調査員）はインターネットの知識がないので質問の返答に困った。
- ・ インターネット回答の案内が、『調査書類収納用封筒』の裏面にしか記載されていないので分かりづらい。（並行方式）

7 「住宅の建て方」欄の記入状況

調査員が、調査票の「住宅の建て方」欄の記入が困難だった住宅や建物があった調査区の割合は、2.6%となっている。

これを地域特性別にみると、「住宅の建て方」欄の記入が困難だった住宅や建物があった調査区の割合が最も高いのは、「単身者が居住する住宅が多い地域」（7.0%）となっている。

表48 「住宅の建て方」欄の記入が困難だった住宅や建物の有無

	調査区数	構成比(%)			
		なかった	あった	不詳	
総 数	384	93.0	2.6	4.4	
地域 特性	オートロックマンション地域	98	94.9	1.0	4.1
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	88.0	7.0	5.0
	一戸建の多い地域	92	94.6	1.1	4.3
	その他の共同住宅の多い地域	478	94.7	1.1	4.3

【記入が困難だった主な例】

- ・ 建設工事現場で見られるような仮設建物
- ・ 宗教団体の建物
- ・ 一見、一戸建に見えるが、各階に別の世帯が入居しており、アパートとして使用されている。
- ・ 店舗兼用住宅
- ・ 敷地内に母屋のほか離れが二つある。

8 当初回収及び調査票未提出世帯からの回収時における世帯からの質問等

当初回収について、世帯から質問等があった調査区の割合は20.6%となっている。また、調査票の未提世帯からの回収について、世帯から質問等があった調査区の割合は8.6%となっている。

表49 当初回収時における世帯からの質問等の有無

		調査区数	構成比 (%)		
			なかった	あった	不詳
総 数		384	72.9	20.6	6.5
地域 特性	オートロックマンション地域	98	74.5	15.3	10.2
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	80.0	16.0	4.0
	一戸建の多い地域	92	69.6	23.9	6.5
	その他の共同住宅の多い地域	94	67.0	27.7	5.3

表50 調査票未提出回収時における世帯からの質問等の有無

		調査区数	構成比 (%)		
			なかった	あった	不詳
総 数		384	76.0	8.6	15.4
地域 特性	オートロックマンション地域	98	84.7	2.0	13.3
	単身者が居住する住宅が多い地域	100	79.0	10.0	11.0
	一戸建の多い地域	92	73.9	8.7	17.4
	その他の共同住宅の多い地域	94	66.0	13.8	20.2

【主な質問等】

- ・ 高齢者に記入を依頼されるケースが多かった。
- ・ オンライン回答をしようと思ったが回答できなかった。
- ・ オンラインの回答期間が短い。（先行方式）
- ・ 調査票は『調査についてのお知らせ』と一緒に配布してほしい。（先行方式）
- ・ 会社名など、プライバシー項目は記入したくない。
- ・ 試験調査の必要性や報告義務（法的根拠）など。
- ・ 他の地域（世帯）は対象になっていないので協力したくない。
- ・ 提出期限後でも提出しなければならないのか。
- ・ 夜間の訪問は近隣の目があるので遠慮してほしい。

9 世帯訪問の状況

(1) 1世帯当たりの平均訪問回数

調査活動時における調査員の1世帯当たりの平均訪問回数をみると、5.5回となっている。

これを地域特性別にみると、「単身者が居住する住宅が多い地域」の平均訪問回数が8.1回と最も多くなっており、5回以上訪問した割合も57.2%と高くなっている。

表51 調査員の世帯訪問状況

	総数	訪問回数別割合(%)					1世帯 当たり 平均訪問 回数	
		1回	2回	3回	4回	5回 以上		
総数	20,348	14.6	17.7	16.0	11.1	40.7	5.5	
地域 特性	オートロックマンション地域	5,014	13.8	19.5	12.8	12.1	41.7	5.0
	単身者が居住する住宅が多い地域	5,877	10.4	11.6	12.1	8.6	57.2	8.1
	一戸建の多い地域	4,471	21.0	26.1	23.0	12.6	17.3	3.1
	その他の共同住宅の多い地域	4,986	14.6	15.3	17.3	11.5	41.3	4.9

(2) 時間帯別訪問回数

世帯への訪問時間帯別の訪問回数をみると、「一戸建の多い地域」に比べ、「オートロックマンション地域」、「単身者が居住する住宅が多い地域」及び「その他の共同住宅の多い地域」において、夜の訪問の割合が高くなっている。

表52 調査員の時間帯別訪問状況

	総数	訪問時間帯別割合(%)			
		朝	昼	夜	
総数	104,597	9.9	60.6	29.5	
地域 特性	オートロックマンション地域	23,134	8.0	61.9	30.2
	単身者が居住する住宅が多い地域	45,376	9.5	58.8	31.7
	一戸建の多い地域	13,111	10.4	70.9	18.8
	その他の共同住宅の多い地域	22,976	12.3	57.2	30.5

10 調査票の書き方などについての世帯からの質問等の状況

調査票の書き方などについて、世帯から質問等を受けた調査員の割合は35.2%となっている。

これを地域特性別にみると、世帯から質問等があった割合が最も高いのは、「一戸建の多い地域」(52.2%)となっている。

表53 調査票の書き方などについての質問等の有無

		調査員数	あった	割合 (%)
総 数		193	68	35.2
地域 特性	オートロックマンション地域	50	11	22.0
	単身者が居住する住宅が多い地域	50	17	34.0
	一戸建の多い地域	46	24	52.2
	その他の共同住宅の多い地域	47	16	34.0

【主な質問等】

(勤め先・業主などの名称及び事業の内容、本人の仕事の内容)

- ・ 「仕事をしましたか」と「勤めか自営かの別」の違いが理解しにくい。
- ・ 「仕事の内容」の書き方が分からない。

(調査の定義)

- ・ 単身赴任中、入院中、学生など、同居していない家族の扱い
- ・ 住民票が別々になっている子供の扱い
- ・ 家が2軒ある場合の調査場所

(高齢者を中心として)

- ・ 就業状態等について、例えば年金生活の場合などは、どう記入すればよいか分からない。
- ・ 調査票全体の記入のしかたが分からない。
- ・ 調査票の文字が小さい。

11 調査書類・用品についての意見等

【調査書類・用品全般】

- ・ 調査書類・用品の量、種類が多すぎて重い。

【調査票】

- ・ 文字が小さいので、もう少し大きくした方がよい。
- ・ A3サイズは大きすぎる。
- ・ 「記入は黒の鉛筆で」の文字を大きくできないか。きちんと説明してもボールペン記入してくる世帯がいる。
- ・ 調査票に印刷されたID等をもっと目立つようにできないか。(並行方式)

【調査書類収納封筒】

- ・ インターネット回答の利用案内が封筒の裏面にしか記載されていないので、分

かりづらい。(並行方式)

【調査世帯一覧】

- ・ 調査書類をポストイングした場合、当該世帯の備考欄にIDを記録することとしているが、備考欄が狭く、ID(9桁)を記入しただけで埋まってしまうので、広くしてほしい。

【下敷き】

- ・ 止め具が緩くなってしまい、書類を固定できない。
- ・ 雨天時に湿気で反ってしまい使いづらかった。

【連絡メモ】

- ・ 使用頻度が高く、追加配布を受けたのに不足した。
- ・ シールタイプの方が使いやすい。

【筆記具セット】

- ・ シャープペンシルの替芯を用意してほしい。

【手提げ袋】

- ・ 自転車のカゴに入る縦長サイズがよい。
- ・ 雨天時の活動も考慮し、耐水性を備えた仕様としてほしい。また、足下に置いた際に安定する工夫もしてほしい。

【腕章】

- ・ ピンで止めると洋服に穴が開くので、別の装着方法も考えてほしい。

【調査の手引】

- ・ 『調査世帯一覧』の説明(書き方)ページが分散しているので、1か所ですべてが理解できるページがあればよい。

12 平成27年国勢調査の実施に向けての意見等

【協力依頼】

- ・ 共同住宅の場合は管理会社から、また、調査区内に同じ大学の学生が居住する共同住宅があれば大学の協力も得るなど、その地域で有効な組織を活用できればよい。
- ・ 地域の区長、自治会等への協力依頼は必要
- ・ マンション・アパートの調査は管理会社に委託する、また、管理会社を通して空き室情報を教えてもらえると助かる。

【広報】

- ・ 共同住宅には協力を呼びかけるポスターを貼ったほうが、協力を得やすい。
- ・ 国勢調査の必要性を広報でアピールしているが、もっと工夫が必要。
- ・ 報償品があれば、若年層も協力するのではないか。
- ・ 様々な広報活動を通し、国民の理解促進を図っていくことが必要と考えるが、マスメディアからの情報発信も重要なため、的確な働きかけをしてほしい。

【オンライン回答】

- ・ 回答期間の延長、携帯端末等の利用を検討してほしい。

- ・ もっと簡単にアクセスできるとよい。
- ・ オンライン回答（郵送提出）があった場合、調査員は回答状況をすぐに把握できないので、早期に確認できるしくみを考えてほしい。行き違いなどが無くなれば、不在世帯を何度も訪問する回数が減る。
- ・ 今後、オンライン回答を推進するのであれば、環境整備の一環として、PCのない世帯でもオンライン回答が利用できるよう、役所や支所等の公共施設にオンライン回答できる環境やサポート要員を設置してはどうか。

【その他】

- ・ 明らかにインターネットで回答できないことが分かっている世帯には、最初から調査票を配布するほうがよい。
- ・ 先行方式は、調査事務の期間が長いなど調査員の負担が大きいため、負担を少しでも軽減する事務の流れを考えてほしい。
- ・ 高齢者世帯は代筆を依頼することが多いので、その場合は、配布時に回収してもよいのではないかと。

第2 調査状況等記録表

1 調査員からの連絡・照会状況

調査員から市区町への連絡・照会件数をみると、14市区町の平均で34.4件となっている。

表54 調査員からの連絡・照会状況

調査員からの 連絡・照会件数	1～19件	20～39件	40～59件	60件以上	14市区町 平均件数
市区町数	3	7	2	2	34.4

【主な内容】

- ・ 調査書類・用品の不足についての連絡
- ・ 面接できない世帯への対応方法
- ・ 調査世帯一覧の記入方法
- ・ 調査票の受付状況の確認（郵送、オンラインで提出済みの世帯の確認）
- ・ オンライン回答方法

2 世帯からの連絡・照会状況

世帯から市区町への連絡・照会件数をみると、14市区町の平均で31.6件となっている。

表55 世帯からの連絡・照会状況

世帯からの 連絡・照会件数	1～19件	20～39件	40～59件	60件以上	14市区町 平均件数
市区町数	5	6	1	2	31.6

【主な内容】

- ・ 試験調査が本当に実施されているかの確認
- ・ 調査票の書き方に関する質問
- ・ オンライン回答方法
- ・ 調査への非協力を伝えるもの
- ・ 約束日時変更の連絡

3 調査票の郵送提出件数について

調査票の郵送提出件数を調査段階別で見ると、市区町で受け付けた調査票が最も多かったのは、「調査票の当初回収期間」（46.2%）となっている。

なお、『郵送提出用封筒』の裏面の差出人欄に住所等が記入されている割合は95.1%（先行方式：96.1% 並行方式：94.1%）となっている。

※ 平成27年国勢調査第1次試験調査では、『郵送提出用封筒』は市区町により作成し、裏面に差出人欄を設けることとした。

表56 調査段階別の調査票の受付状況

	総数		先行方式		並行方式	
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
総数	8,772	100.0%	4,262	100.0%	4,510	100.0%
調査票の配布期間：7/4(水)～11(水)	1,315	15.0%	782	18.3%	533	11.8%
調査票の当初回収期間：7/12(木)～18(水)	4,054	46.2%	1,736	40.7%	2,318	51.4%
『調査へのご協力ありがとうございます』（確認状）の配布期間：7/19(木)～22(日)	1,429	16.3%	730	17.1%	699	15.5%
調査票未提出世帯の特定・伝達期間： 7/19(木)～25(水)	2,387	27.2%	1,210	28.4%	1,177	26.1%
未提出世帯からの回収期間： 7/26(木)～29(水)	186	2.1%	85	2.0%	101	2.2%
上記期間以後	830	9.5%	449	10.5%	381	8.4%

4 『郵送提出用封筒』、『調査書類収納用封筒』の開封状況

(1) 『郵送提出用封筒』、『調査書類収納用封筒』の開封に要した事務量

世帯から提出された『調査票提出用封筒』の開封に要した延べ人員をみると、14市区町の平均で21.3人時間となっている。

表57 『郵送提出用封筒』、『調査書類収納用封筒』の開封に要した事務量

『郵送提出用封筒』の開封に要した延べ人員	10人時間未満	10人時間～20人時間未満	20人時間～30人時間未満	30人時間以上	14市区町平均人時間
市区町数	3	8	1	2	21.3

(2) 調査票の調査区番号・世帯番号の記入状況

調査票の調査区番号と世帯番号の記入漏れの件数をみると、「調査区番号と世帯番号が共に記入漏れ」が119件、記入漏れ率は0.8%となっている。

表58 調査票への調査区番号、世帯番号の記入状況

		市区町数				記入漏れ件数	記入漏れ率	
		記入漏れなし	1～19件	20～39件	40～59件			60件以上
計	調査区番号と世帯番号が共に記入漏れ	7	4	1	2	0	119	0.8%
	調査区番号のみ記入漏れ	9	5	0	0	0	14	0.1%
	世帯番号のみ記入漏れ	5	7	0	0	2	179	1.1%
調査票甲	調査区番号と世帯番号が共に記入漏れ	11	1	1	1	0	67	0.9%
	調査区番号のみ記入漏れ	12	2	0	0	0	6	0.1%
	世帯番号のみ記入漏れ	7	6	0	1	0	66	0.8%
調査票乙	調査区番号と世帯番号が共に記入漏れ	10	3	0	1	0	52	0.7%
	調査区番号のみ記入漏れ	9	5	0	0	0	8	0.1%
	世帯番号のみ記入漏れ	6	6	1	0	1	113	1.4%

(3) 『調査票提出用封筒』の開封についての意見等

- ・ 郵送封筒の開封、調査区番号等の確認、『郵送提出用封筒』の整理（調査区番号等の順番に並び替え）だけでも相当な時間がかかる。
- ・ 調査票乙は厚みがあるので開封しづらかった。

5 回答状況の伝達等について

(1) オンライン回答状況及び郵送提出状況を調査員に伝達するための方法

オンライン回答状況及び郵送提出状況を調査員に伝達するための方法については、いずれの調査方法においても郵送による伝達方法が最も多くなっている。

表59 調査員への伝達方法（複数回答）

（単位：市区町）

		郵送による伝達	来所してもらい個別に伝達	電話で伝達	その他（メールなど）
先行方式	オンライン回答状況の伝達	4	2	0	1
	郵送提出状況の伝達	4	3	2	0
並行方式	オンライン回答及び郵送回答状況の伝達	4	3	2	2

(2) ID管理・検索ツールの使用事例

- ・ 調査区番号、世帯番号の記入漏れ、オンライン回答の際の調査区番号、世帯番号の入力漏れによる確認、修正に使用
- ・ （ID等がプレプリントされている）『調査についてのお知らせ』（予備分）の管理に使用
- ・ 重複回答した者の検索に使用

(3) 調査員による未提出世帯の特定ができなかった事例

- ・ 調査票等の世帯番号の記入が漏れており、かつ、調査員が面接できず郵便受けに投函した世帯については、『調査世帯一覧』上で世帯の代表者の氏名もわからないという場合がいくつかあったので、郵送回答してもらっていたとしても、調査員では、どの世帯が回答しているか特定できなかった。

(4) 調査員への伝達方法や、調査員による調査票未提出世帯の特定の指示をすることについての意見等

- ・ 調査員にもオンライン回答等の状況が確認できるシステムを構築してほしい。
- ・ 『郵送提出等世帯一覧』への入力誤りもあるので、本調査の規模であると、事務処理が間に合うか心配
- ・ 『郵送提出用封筒』の差出人欄をスキャンし、それをファイリングソフトで管理することによって、『郵送提出等世帯一覧』の代用品にできないか。
- ・ 世帯番号、調査区番号の誤りをチェックできるシステムを構築できないか。

6 調査書類の審査状況

(1) 調査書類の審査に要した事務量

調査書類の審査に要した延べ人員は、14市区町の平均で94.1人時間となっている。

これを延べ人員別にみると、50人時間～100人時間未満であった市区町が最も多くなっている（7市区町）。

表60 調査書類の審査に要した事務量

調査書類の審査に 要した延べ人員	50人時間 未満	50人時間～ 100人時間未満	100人時間～ 150人時間未満	150人時間 以上	14市区町 平均人時間
市区町数	2	7	4	1	94.1

(2) 調査書類の審査についての意見等

- ・ 補記、訂正すべき事例をとりまとめた資料を提供してほしい。
- ・ 調査員が「世帯人員」を把握できていない世帯や、世帯が提出した調査票・オンライン回答結果と調査員が世帯に聞き取った世帯人員との間に相違がある場合があった。
- ・ 市区町での審査時に居住確認が取れた場合の聞き取り調査票の作成方法が不明確であった。

7 今回の試験調査の調査方法等についての意見等

(1) オンライン回答を先行して行う方式（先行方式）について

- ・ 『調査についてのお知らせ』配布時に面接できた世帯に対して、調査票を配布できないことは問題。ID配布時に世帯から要望があった場合は、紙の調査票を配布できるようにしてほしい。
- ・ 『調査についてのお知らせ』を配布する期間（3日間）が短い。面接による配布を原則とするのであれば、配布期間を長くしてほしい。
- ・ 従来調査では『調査についてのお知らせ』を配布することで事前周知の効果があつたが、今回の調査方法は配布時に世帯と面会して世帯人数の確認などを行うため、世帯から見れば事前周知が無く、いきなり調査を開始したように感じる。
- ・ 市の事務（調査票特定・回収状況の伝達）については、事務負担が分散されて作業しやすかった。
- ・ 先行方式と並行方式を比較すると、オンライン回答率は明らかに先行方式が高い。オンライン回答率が高くなることは、調査用品の削減、審査・集計事務の負担軽減に繋がるため、先行方式は良い調査方法だと思う。
- ・ 調査員の活動時間が従前より長くなり、調査員の負担が大きい。
- ・ 経済性の観点とオンライン回答に誘導し審査を容易にする観点から適切であ

る。ただし、回答後の訂正等は可能であるものの、オンライン回答が調査日より早いことから、調査日までの世帯の異動状況を正確に把握することが重要

(2) 調査員提出、郵送提出、オンライン回答を並行して行う調査方法（並行方式）について

- ・ 紙の調査票を同時に配布することで、オンライン回答の割合が低くなるように感じた。
- ・ オンライン回答の案内が『調査書類整理用封筒』の裏面下部に記載されていたが、もっと目立つ部分に書くべきものと思料

(3) IDの配り分けについて

- ・ 「調査員事務打合せ会」の限られた時間内で、調査員がオンライン回答の方法を理解することは難しいが、このような点をどう解消するかがオンライン回答を広められるか否かのポイントだと思われる。調査員にも、オンライン回答のデモを使い説明した方がよいのではないか。
- ・ 事前に各調査区（主番号まで）とIDのひも付けがされているので、調査員の調査区番号等の記入誤り、世帯の入力ミスがあっても、IDから正しい調査区番号などが分かるため、世帯の特定がしやすかったのではないか。
- ・ IDを世帯番号までひも付けしてほしい。
- ・ IDと調査区番号がひも付いていない予備のID配布書類を調査員に交付する際の台帳作成の必要性は理解できるが、本調査の物量では作成しきれないものと思料
- ・ IDが記載されている書類が統計局から発送されてくる段階であらかじめ調査区ごとに仕分けがされていたので、調査員にも配り分けの説明がしやすかった。
- ・ 留守宅に調査書類をポストイングする際に、『調査世帯一覧』に9桁のIDを記録することとしていたが、その作業が調査員には負担であるものと思料
- ・ IDが通し番号でないため、セキュリティは強固であるが、調査員は管理しにくかったものと思料
- ・ 2調査区担当が主流となりつつある状況で、IDの配り分けは困難。今回もID記載書類を2つの調査区間で混ぜてしまった調査員もあり、本調査でも配り間違いが発生するものと思料
- ・ IDと調査区をひも付けるのであれば、ID配布書類に調査区番号（単位区の番号を含む）まではプレプリントしてほしい。

(4) 調査員事務、調査員の配置方法について

- ・ 調査員が理解すべきこと、注意すべきことが多く、調査員事務打合せ会の限られた時間では説明しきれないことから、調査書類の記入漏れ等が起りやす

い環境であるものと思料

- ・ 単身者の多い共同住宅は、調査員が何度訪問しても面接できないため、調査活動に苦勞した模様
- ・ 本調査では、多数の調査員未経験者が従事することから、調査方法はより簡潔で、直感的に分かる方法がよい。
- ・ オンライン調査等により調査内容が複雑化する中、準備期間が短く、負担が大きかったものと思料
- ・ 世帯訪問時に男女別世帯人員等を聴取する事務について、世帯から忌避感の声上がり対応に苦慮した。
- ・ オンライン回答率が高かった調査区は、調査事務の負担が少なかったとの意見が多かった。
- ・ 共同住宅の調査は、居住者に調査員をお願いする方が、調査活動がしやすいと思う。本調査は、基本的には自治会からの推薦が多いが、自治会が組織化されていないワンルームマンションなどは住人、管理人などを調査員としてスカウトすることやマンション管理会社などとの連携を図ることが重要だと思う。
- ・ 大学付近のアパートが多い地域は、大学の職員に調査員を依頼するなど必要に応じて変えていく必要がある。
- ・ 面接できなかった世帯からオンライン回答や郵送で提出がされた場合、調査員が世帯員数を把握することが難しいので『調査世帯一覧』の合計人数欄に記入できなくなる。調査区によって合計人数欄が計算できるところとできないところがあると事務が混乱するため、統一的に、調査区（単位区）ごとの合計人数欄の記入は、調査員以外の事務としてほしい。

(5) 市区町の事務について

- ・ オンライン回答が増えると市側での審査が少なくなるメリットはあるが、今回のオンライン回答は調査区番号、世帯番号を世帯が入力する仕組みであるため、それを誤ると逆に調査区・世帯の特定に時間がとられてしまうデメリットがある。
- ・ 『郵送提出等世帯一覧』に男女別世帯員数を表示するようにはできないか。『調査世帯一覧』の世帯員数と比較することにより、その後の審査事務をスムーズに行える。

(6) 実査期間の事務について

- ・ 調査員には未提出世帯への回収事務後に調査票の提出がない世帯分の聞き取り調査票を作成してもらうことになるが、この事務が十分に理解されていない。氏名、男女の別、世帯員の数の聞き取りができなかった場合でも居住しているかどうかの確認だけは必ず行うように調査員事務打合せ会に強調する必要があると思う。

- ・ ワンルームマンション等の住居では、世帯と面接できない状況が続き、居住確認もできないままポスティングにより調査票を配布した住居が多く存在した。そのポスティングでも反応はなく、最後まで、居住確認ができない住居が多く存在した。

8 調査書類・用品についての意見等

【調査票】

- ・ 文字が小さく、高齢者には記入しづらい。新聞の文字サイズにしてほしい。
- ・ 乙は甲に比べ重さも倍、広げる動作も一手間多く、審査・整理に場所も使うので、本調査時に扱うのは手間
- ・ 乙は裏面（白紙）を表に折られているため、世帯訪問時に世帯番号を記入しづらい。
- ・ 11、12欄（産業、職業欄）を世帯員の枠を超えて書いている世帯が散見された。世帯員の区切りの縦線を目立つようにした方がよい。
- ・ 「5年前にはどこに住んでいましたか」欄の説明書きがわかりにくいので検討してほしい。
- ・ 高齢者は就業状態欄の書き方がわからないケースがみられた。

【オンライン画面】

- ・ 印刷された確認コードは3桁ごとにスペースが空いていたが、確認コードの入力枠に仕切りがないので世帯が戸惑う部分だったものと思料
- ・ 入力途中で保存ができないシステムだったので、途中で入力を諦めた世帯もいるのではないかな。
- ・ 回答が完全に終了したと世帯が認識できるような画面があれば、世帯はわかりやすいのではないかな。
- ・ 10人世帯でオンライン回答ができない世帯があったのでそのような制限をなくしてほしい。
- ・ URLを直接入力するのではなく、検索サイトや統計局のHPからアクセスできれば利用も増えるのではないかな。
- ・ スクロールが必要な画面もあるので、一般的な画面の大きさであれば、一画面で見られるようにしてほしい。
- ・ 入力不要項目はグレーに着色されるが、次に入力が必要な項目を点滅させるなど、次の入力の案内もしてほしい。
- ・ 外国人向けのオンライン画面があった方がよい。

【調査についてのお知らせ】

- ・ 先行方式においては、オンライン回答の導入画面などの視覚的説明を手厚くした方がよい。

【調査区要図】

- ・ 本調査もプレプリントしたものを配布してほしい。広大な調査区の場合は、

縮小率が高く、使用に耐えるものではない。

【調査世帯一覧】

- ・ 提出状況欄の項目が多く、記入に混乱が見られた。
- ・ 審査の際に居住確認の判断材料とするため、備考欄を広くしてほしい。
- ・ 面接済みか否かがわかる欄があるのは、審査段階で有用

【ID管理・検索ツール】

- ・ 『郵送提出等世帯一覧』を出力する際、単位区が異なると別のブックに出力されてしまう。調査員氏名を自動で取り込むなど、本調査時に大量の数をこなすものとして改良を進めてほしい。
- ・ 『郵送提出等世帯一覧』出力時に、当該『調査世帯一覧』と対応した「調査員氏名」、「単位区の地域」を差し込まれるようにしてほしい。
- ・ 存在しない調査区番号の主番号と単位区の番号の組み合わせ、単位区内での世帯番号の重複をチェックできるなどの機能を追加してほしい。

【調査の手引】

- ・ 記載内容が多すぎて、調査員が理解できない。特に高齢の調査員には大きな負担となる。

【下敷き】

- ・ 留め具が弱く、板も薄いので書類が書きづらい。特に留め具は、書類紛失の恐れもあるので検討してほしい。
- ・ 板挟みを別に措置したほうがよいものと思料

【手提げ袋】

- ・ 自転車のカゴに入るように縦型にしてほしい。
- ・ 素材等に関する要望（雨に強い素材にしてほしい、破れてしまった例もあるのでもっと丈夫な素材を使用してほしい、地面に置くことが多いので倒れづらい設計としてほしい）

【従事者用腕章】

- ・ 材質が固く、プラスチックの末端がとがっており、洋服の袖や腕を痛めるので、材質を検討してほしい。
- ・ ピンで留めるようになっており、洋服に穴が開くので留め方を検討してほしい。

【調査員同行者推薦書・登録書】

- ・ 前回調査時の様式は、調査員事務打合せ会の場で記入・回収できたが、現在の様式は、同行者の同意（自筆）が必要なものとなっているため、書類のやりとりが増え煩雑になるので、元の様式に戻してほしい。

【その他】

- ・ カレンダー形式のスケジュール一覧を配布していただければ事務のイメージがしやすい。
- ・ 経験の浅い調査員のために、世帯への対応方法や事前準備から調査票の回収

までのポイントを集約したDVDがあるとよい。

9 平成27年国勢調査の実施に向けての意見等

【オンライン関係】

- ・ オンライン回答推進のために広報の充実も検討してほしい。
- ・ オンライン回答推進のためには、自宅にPCを持っていない世帯向けに、モバイルでの回答、市の施設等に設置したPCでの回答などについても検討されたい。
- ・ オンライン回答推進のためには、調査関係書類に世帯番号等の確実な記入が肝であることから、調査員が自宅で記入できるような指導方法としてほしい。
- ・ オンライン調査の本格導入に当たっては、自治体ごとに個人情報取扱基準が違い、職員端末等で業務を行うための庁内手続き(機器増設工事等を含む)に時間を要する自治体があることが予想されるので、事前の状況調査等を早期に行うとともに、専用端末機器・配線増設等が必要な場合の予算を措置してほしい。

【調査困難地域の対応関係】

- ・ 特にワンルームマンションなど単身者の住む世帯の調査については、困難を極めたので、何らかの対策を示されたい。
- ・ オートロックマンションの調査について、調査員がインターホンでまとめて約束を取りつける方法で調査ができるように協力依頼等を充実されたい。
- ・ 共同住宅地域は居住確認が困難なため、空き室情報の提供など、管理会社、管理人、管理組合等の協力が不可欠
- ・ 不在世帯等で苗字すらわからないような場合の事務処理方法について、調査書類に盛り込んでほしい。

【提出方法関係】

- ・ 提出方法は全封入ではなく、調査員が確認する方法を、不詳を減らす観点からも検討してほしい。
- ・ 調査の精度を上げるために、地域の実情に合わせて、原則調査員回収、場合によっては郵送回収、封入回収も可という形で地方によって選択できるようにしてはどうか。

【調査員関係】

- ・ 調査員は、回収や審査の事務はないものの、2調査区担当が基本となっていることから、『調査区要図』や『調査世帯一覧』、調査票の調査員記入欄への記入等事務作業が多い。事務の簡素化を検討していただきたい。

【日程関係】

- ・ IDが示された書類の配布期間や未提出世帯回収期間には、それぞれ土日を2回は、挟んでほしい。

【その他】

- ・ 調査員事務打合せ会用の書類の書類番号を統計局で貼付した上で送付されたが、市の説明の順番もあるので、資料番号を貼付するかの希望を取った上で送付して

ほしい。

第3 審査結果記録表

1 記入漏れ等の状況及び補筆訂正の状況（聞き取り調査票を除く）

調査票の「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項のうち、補筆訂正できた調査事項の状況については、世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項の割合が31.8%、世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項が1.4%となっている。

また、住民基本台帳により補記の対象となる調査事項について補筆訂正できた調査事項は9.9%となっている。

注) 本記録表においては、次の取扱いとした。

- ・「世帯員数不一致」・・・ 調査票の「氏名及び男女の別」、調査票の「世帯員の数」及び『調査世帯一覧』の「世帯員の数」それぞれの“男女別の世帯員の数”及び“世帯員の総数”が一致していない。
- ・「記入漏れ」・・・ 調査票の記入すべき欄に記入がない。
- ・住民基本台帳での補記・・・ 調査票の「世帯主との続柄」、「出生の年月」、「配偶の関係」等に記入漏れがある世帯員について、世帯照会をしても補記できない場合に、住民基本台帳と照合し補記を実施。なお、「配偶の関係」は、「世帯主との続柄」から既婚であることが確認できた場合についてのみ補記

表61 記入漏れ等の状況及び補筆訂正の状況（住民基本台帳による補記を除く）

		「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項	世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項	世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項
			(※)を除く	
総数		22,754	31.8	1.4
調査票	甲	11,869	31.9	1.2
	乙	10,885	31.7	1.8
地域特性	オートロックマンション地域	4,527	41.3	1.7
	単身者が居住する住宅が多い地域	5,036	31.3	0.9
	一戸建の多い地域	7,653	27.0	1.2
	その他の共同住宅の多い地域	5,538	31.3	2.1
(別掲)				
調査員回収		8,047	26.3	1.7
郵送提出		14,707	34.8	1.3

表62 記入漏れ等の状況及び補筆訂正の状況（住民基本台帳による補記の対象となる調査事項）

		「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項 (※住民基本台帳による補記の対象となる調査事項)	住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項
総数		5,057	9.9
調査票	甲	2,537	7.1
	乙	2,520	12.8
地域特性	オートロックマンション地域	1,032	4.3
	単身者が居住する住宅が多い地域	1,018	6.5
	一戸建の多い地域	1,852	15.6
	その他の共同住宅の多い地域	1,155	9.0
(別掲)			
調査員回収		2,001	12.4
郵送提出		3,056	8.3

2 調査項目別補筆訂正の状況

調査員回収及び郵送提出調査票について、補筆訂正の状況をみると、世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項については、「世帯の種類」が85.7%、世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項については、「1週間に仕事をしましたか」が7.6%、住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項については、「出生の年月」の「年」が27.1%、「月」が29.0%となっている。

表63 記入漏れ等の状況及び補筆訂正の状況（調査員回収及び郵送提出）

	総 数（聞き取り調査票を除く）				調査員				郵送				
	「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項	うち、世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項（※）を除く	うち、世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項	うち、住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項（※）	「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項	うち、世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項（※）を除く	うち、世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項	うち、住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項（※）	「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項	うち、世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項（※）を除く	うち、世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項	うち、住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項（※）	
男女の別	202	53.0	2.5	10.9	94	42.6	3.2	9.6	108	62.0	1.9	12.0	
「氏名及び男女の別」の記入員数と「世帯員の数」との不一致	758	78.1	0.8	1.7	193	76.7	1.6	3.1	565	78.6	0.5	1.2	
世帯主との続き柄	544	41.9	2.0	13.2	270	33.0	1.1	14.8	274	50.7	2.9	11.7	
出生の年月	元号（西暦）	702	60.5	0.9	11.5	268	44.4	1.5	18.3	434	70.5	0.5	7.4
	年	255	9.8	0.8	27.1	128	7.0	0.8	26.6	127	12.6	0.8	27.6
	月	252	10.7	0.8	29.0	128	7.0	0.8	27.3	124	14.5	0.8	30.6
配偶者の有無	2,118	53.1	1.6	6.1	843	49.7	0.9	6.9	1,275	55.3	2.0	5.6	
国籍	マーク	892	32.7	2.4	-	357	23.2	3.4	-	535	39.1	1.7	-
	国名	137	24.1	1.5	-	50	36.0	0.0	-	87	17.2	2.3	-
現在の場所に住んでいる期間	277	10.1	2.5	-	114	5.3	1.8	-	163	13.5	3.1	-	
5年前はどこに住んでいましたか	マーク	1,156	60.6	0.5	-	345	57.7	0.6	-	811	61.9	0.5	-
	都道府県名	283	45.9	0.7	-	114	54.4	0.9	-	169	40.2	0.6	-
	市町村名	267	38.2	0.7	-	106	48.1	0.9	-	161	31.7	0.6	-
	区名	272	42.6	0.4	-	106	55.7	0.0	-	166	34.3	0.6	-
住居の種類	366	29.8	0.5	-	133	21.8	0.8	-	233	34.3	0.4	-	
電話番号	1,778	1.6	0.0	-	574	3.0	0.0	-	1,204	0.9	0.0	-	
住宅の建て方	マーク	494	65.2	0.0	-	117	59.8	0.0	-	377	66.8	0.0	-
	住んでいる住宅のある階	421	59.1	0.0	-	112	56.3	0.0	-	309	60.2	0.0	-
	建物全体の階数	407	60.9	0.0	-	101	56.4	0.0	-	306	62.4	0.0	-
世帯の種類	830	85.7	0.0	-	195	82.6	0.0	-	635	86.6	0.0	-	
1週間に仕事をしましたか	1,164	21.1	7.6	-	442	14.0	7.9	-	722	25.5	7.3	-	
従業地又は通学地	マーク	1,581	40.3	1.4	-	517	34.6	1.5	-	1,064	43.0	1.3	-
	都道府県名	754	24.0	0.8	-	216	14.8	0.9	-	538	27.7	0.7	-
	市町村名	704	15.9	0.9	-	212	9.4	0.9	-	492	18.7	0.8	-
	区名	583	9.3	0.7	-	154	3.9	0.0	-	429	11.2	0.9	-
勤めか自営かの別	751	2.8	1.9	-	310	1.0	1.9	-	441	4.1	1.8	-	
勤め先・業主などの名称及び事業の内容	1,242	4.8	1.4	-	487	2.7	1.8	-	755	6.2	1.2	-	
本人の仕事の内容	事業の内容	1,724	9.1	1.7	-	672	7.1	2.4	-	1,052	10.4	1.3	-
	仕事の内容	1,614	6.8	1.5	-	612	4.9	2.0	-	1,002	7.9	1.2	-

3 聞き取り調査票の補筆訂正の状況

聞き取り調査票の補筆訂正の状況をみると、「男女の別」は世帯から聞かなくても補筆訂正できた割合が15.8%となっており、住民基本台帳で補筆訂正できた割合が16.1%となっている。また、聞き取り調査で把握することとしていない事項のうち、住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項は、「出生の年月」の割合が高く、「元号（西暦）」、「年」及び「月」のいずれも約26%となっている。

表64 聞き取り調査票における補筆訂正の状況

		「世帯員数の不一致」又は「記入漏れ」のある調査事項	世帯から聞かなくても補筆訂正できた調査事項 (※)を除く	世帯から聞いて補筆訂正できた調査事項	住民基本台帳で補筆訂正できた調査事項 (※)
男女の別		2,051	15.8	0.8	16.1
「氏名及び男女の別」の記入員数と「世帯員の数」との不一致		1,818	10.6	0.2	9.2
世帯主との続き柄		(注 4,157)	15.3	0.0	14.4
出生の年月	元号（西暦）	(注 4,157)	0.0	0.0	25.7
	年	(注 4,157)	0.0	0.0	26.0
	月	(注 4,157)	0.0	0.0	26.0
配偶者の有無		(注 4,157)	4.7	0.0	10.8

(注 調査票の集計結果)